

兵庫県豊岡市但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第11号 (平成20・21年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.11 (for the fiscal years of 2008-2009)

あ い さ つ

平成8年11月に生涯学習活動の振興・国際教育及び学術、文化の発展に寄与することを目的として日本・モンゴル民族博物館が開館し、早いもので13年が経過しました。

平成20年度は企画展5回、平成21年度6回開催し、これまでの企画展は49回をかぞえ、「小さなまちの大きな国際交流」を標榜しながら、モンゴルの歴史や文化を広く紹介してきました。これまでの活動で蓄積してまいりました資料・技術・経験を踏まえ、国際交流の成果や特性を活かしつつ、今後も多様な活動を進めてまいります。

平成21年度は、当館にとっては歴史に残る大きな出来事がありました。それは金津館長が病魔に倒れ7月5日、享年51歳の若さで他界され、家族にとっても、また当館にとっても無念の極みでありました。前館長は、平成7年青森県八戸市から但東町へ一家移住され、当館の建設から携われ今日まで豊岡市に異色の博物館として名声を高め、広い知識と深い洞察をもって当館の運営に尽力されてきました。生前に関わっていただいた多くの皆様に対し、故人になり代わり感謝を申し上げます。

故金津館長のご遺志を継いで、博物館職員一丸となって日本におけるモンゴル広報の拠点として頑張っていく所存です。私としても平成21年8月から豊岡市教育委員会但東分室長と当館館長の兼務を拝命し、微力ながら当館の発展のため努力する所存ですので、今後とも忌憚のないご意見を賜り、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 井地喜代志



(平成21年度モンゴル協力促進事業)

目 次

I. 平成 20・21 年度概要	3	VI. 管理運営	14
II. 展覧事業	3	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
III. 資料収集保存事業	7	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
4. 備品の寄贈		8. 博物館日誌抄	
IV. 普及教育事業	9	9. お客様の声から抜粋	
1. 出前授業		10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に 関する条例	
2. 体験教室・講座の開催		11. 施設概要	
3. 講師派遣		12. 交通案内	
4. 博物館実習生の受入		13. 利用案内	
5. 教員のための研修			
6. 情報の発信と公開			
V. 国際交流事業	13		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国研修生の受入			

I. 平成 20・21 年度概要

1. 平成 20 年度

平成 20 年度は市町合併から 3 年が経過し、新豊岡市として一体感の醸成が定着し、市内の博物館・美術館の位置付けも市民感覚として徐々に意識づけが出来てきた。当館を取り巻く環境としては、さまざまな関係機関との連携をより密にするよう活発に活動した年であった。

利用者数については、前年度と比べ 1.7% の減少となった。これは、姫路菓子博覧会の開催や昨年に北近畿豊岡自動車道が開通したことなどから、但馬内における観光客の入込みに変化が生じたこともその理由として挙げられる。

展示事業については、モンゴルの民族衣装や但馬地域の工芸品、生活密着した日本の木綿文化、モンゴル人作家の絵画展示など計 5 回の企画展を行った。また、当館が収蔵している資料を少しでも多く公開していくため、常設展示の更新も随時行った。中でも、この年は展示資料の借用や収集にあたり多くの方々から、ご協力を得て事業が遂行できた。

また、この年は前年度に引き続き、市の文化財保護活動に積極的に取り組むと共に、世界最大で豊岡市の両生類となったオオサンショウウオに関する調査やワークショップなどを積極的に多く取り組んだ。

国際交流事業に関しては、市の国際交流協会が主催するモンゴル国友好訪問事業や外務省が行うモンゴル国高校生の受入れを通し、多くの方々との親交を深めることが出来た

2. 平成 21 年度

平成 21 年度は、展示事業及び国際交流事業を積極的に取り組んだ年であった。また、当館の開館から従事していた金津館長が年度途中で逝去し、当館を取り巻く環境が大きく変化した年であった。

利用者数については、昨今の景気低迷などを反映し、対前年度比 15.5% 減と大きく減少の一途を辿った。特に、新型インフルエンザの影響を受け、5 月～6 月と秋季に利用が大きく落ち込んだことがその原因と考えられる。豊岡市の厳しい財政事情の中で、大きな課題とされている。

展示事業では、モンゴル国の写真展示、チベット仏教美術、国内外の手芸、地域の工芸、日本と中国の伝統ある凧、そして豊岡市の文化財シリーズなど、さまざまな分野の企画展を 6 回行った。

なお、教育普及活動や文化財保護活用事業についても、前年度に引き続き積極的に行っている。

国際交流事業については、市が行うモンゴル交流事業を昨年度まではオブザーバーとして事業に関与していたが、平成 21 年 4 月から当館が事業実施機関として行うことになった。この年は、財団法人自治体国際化協会の助成を受け、モンゴル国中学生 2 名の約 2 ヶ月間受入れを行った。また、金津館長の逝去もあり、多くのモンゴル国関係者が弔問・墓参り等で来訪があった。

II. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A 棟のたんとうの森、B 棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C 棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから成っている。

① たんとうの森……人口樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示

② アジアの歴史と風土……新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示

③ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示

④ モンゴル草原の祈り……チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示

⑤ 伝承文化体験交流館……”山里の暮らしと文化”をテーマに、豊岡の歴史・住まい・暮らし・

民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の大幅な更新を行い、より利用しやすいよう工夫を実施してきた。平成 20 年度からは、部分的な手直しにとどめている。

平成 20 年度は、次のような部分について実施した。

① ホール

アートギャラリーの展示替を行った。

② モンゴル草原の暮らしと文化

ツァータン族の資料コーナーにカザフ族の民族資料を新たに追加展示した。また、体験コーナーの壁面に草原風景のパネルを設置した。

平成 21 年度は、更新は実施していない。

(3) 屋外展示

① 竪穴式住居

(平成 20 年度) 竪穴式住居が強風のため屋根破損。

(平成 21 年度) 竪穴式住居の屋根を修復する。

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、職員による館内のガイドを促進している。利用者ひとりひとりのニーズに合った解説を職員が行うことで、更に博物館を楽しんでいただきたいと従前より行ってきた活動であるが、平成 17 年度以降はより積極的に取り組んでいる。館内見学の一助となれるよう、利用者の興味や目的に沿った柔軟な解説を心がけている。

2. 企画展

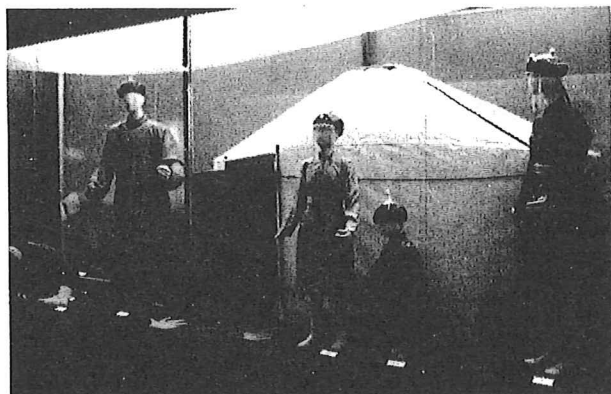
(1) 第 39 回企画展

草原の美 モンゴルの民族衣装

平成 20 年 4 月 10 日～平成 20 年 7 月 15 日

86 日間 (見学者数 6,951 人)

モンゴル国の衣装・装飾品等を展示し、その多様性や造形美を紹介する。当館所蔵の資料に加え、国立民族学博物館からも一部資料を借用して開催した。



第 39 回企画展 展示風景

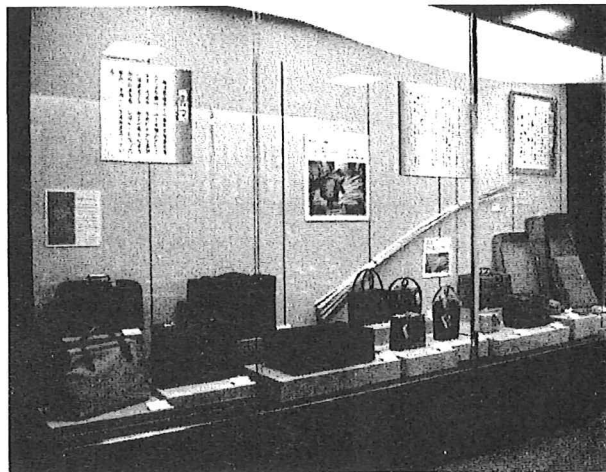
(2) 第 40 回企画展

匠 受け継がれる但馬の手仕事

平成 20 年 7 月 17 日～平成 20 年 10 月 14 日

78 日間 (見学者数 3,641 人)

国の伝統的工芸品に指定されている出石焼や、豊岡杞柳細工、城崎麦わら細工など、豊岡市で大切に受け継がれてきた匠の世界を紹介した。



第 40 回企画展 展示風景

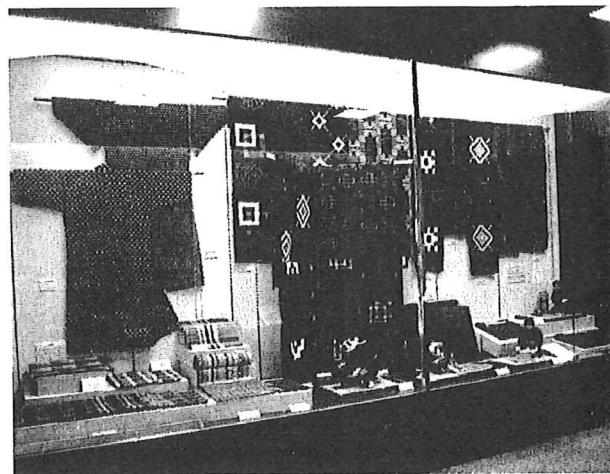
(3) 第 41 回企画展

くらしの中の木綿 あやとりどり

平成 20 年 10 月 16 日～平成 21 年 1 月 13 日

71 日間 (見学者数 2,732 人)

普段の暮らしに密着したさまざまな絵柄を織り出した絵紉を中心に、編織物・夜具などの織物と藍染・染め型紙・型染め布などの染めで木綿の世界を紹介した。



第 41 回企画展 展示風景

(4) 第42回企画展

エラドンバトラ展

平成21年1月15日～平成21年3月10日

48日間（見学者数 2,281人）

中国内モンゴル自治区出身の画家、ボルジギン・エラドンバトラ氏が描く絵画作品を展示。大自然の生命力とそこに生きる人々のたくましさを紹介した。なお、この展示は西日本では初めての企画である。



第42回企画展 展示風景

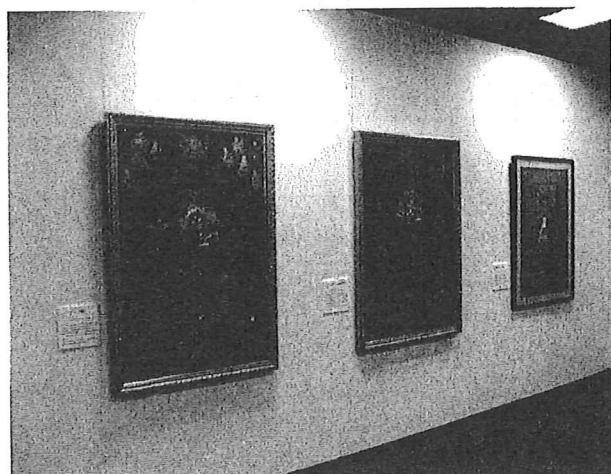
(5) 第43回企画展

モンゴル現代絵画 D.ウルタナサン展

平成21年3月12日～平成21年4月14日

30日間（見学者数 1,575人）

モンゴル伝統絵画の継承者D.ウルタナサン氏の仏画を中心とした絵画作品を紹介した



第43回企画展 展示風景

(6) 第44回企画展

写真展 カザフの土地と暮らし

平成21年4月15日～平成21年6月30日

68日間（見学者数 5,217人）

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ理事長 西村幹也氏がモンゴル国で撮影し、カザフ族やその土地の様子を写真で紹介した。



第44回企画展 展示風景

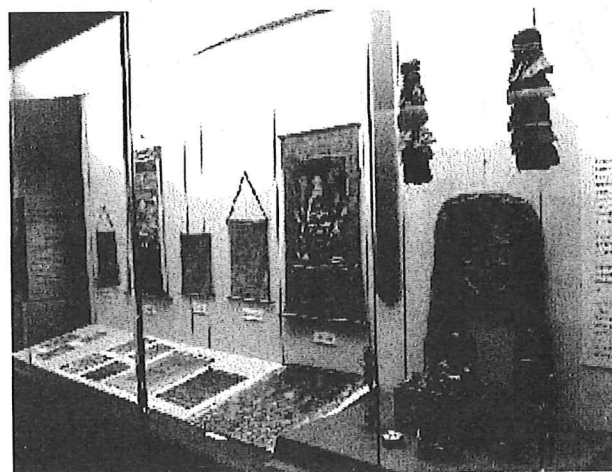
(7) 第45回企画展

チベットタンカーモンゴルの神と仏一

平成21年7月2日～平成21年9月8日

60日間（見学者数 2,392人）

モンゴルで信仰されているチベット仏教の軸装仏画・タンカ、本展では当館が収蔵する貴重なモンゴルのタンカを紹介した。



第45回企画展 展示風景

(8) 第46回企画展

世界の刺繍～糸で描く花と樹

平成21年9月10日～平成21年12月8日

78日間（見学者数 3,098人）

福知山市在住の刺繍家・高橋紀世子氏が世界約100カ国を巡り収集した刺繍のコレクションを展示した。



第46回企画展 展示風景

(9) 第47回企画展

天空に舞う凧

平成21年12月10日～平成22年1月26日

35日間（見学者数 920人）

新春を彩る日本・中国のさまざまな凧を紹介した。



第47回企画展 展示風景

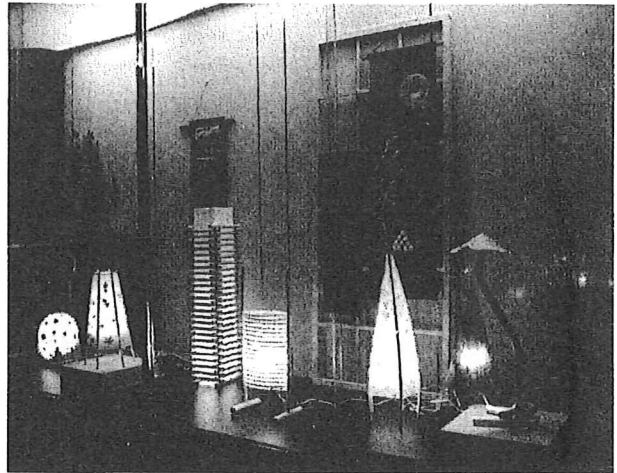
(10) 第48回企画展

楮（こうぞ）のぬくもり～あかり・春夏秋冬

平成22年1月28日～平成22年3月2日

30日間（見学者数 1,224人）

豊岡市日高町在住の中島美行氏による、和紙の原料である楮（こうぞ）の白木で作られた行灯を展示した。



第48回企画展 展示風景

(11) 第49回企画展

豊岡市の文化財Ⅷ

昭和30年代の資母地区～写真に見る地域の姿

平成22年3月4日～平成22年4月6日

30日間（見学者数 1,399人）

昭和30年代の写真を中心に、懐かしい地域の姿を紹介した。



第49回企画展 展示写真（旧資母村役場）

III. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料

を収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料 (敬称略)

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	数 量
平成20年6月17日	藤原 英昭	兵庫県朝来市	葛畑人形	7
平成20年7月30日	塩川 良彦	兵庫県豊岡市	越前甕	1
平成20年8月17日	小林 太一	大阪府吹田市	8ミリフィルム・白黒フィルムネガ	1
平成20年9月9日	石坪 学	兵庫県豊岡市	糸柁	4
平成21年3月16日	フフデリゲル	兵庫県神戸市	巴林右旗文史資料	3
平成21年4月26日	植田 健太	兵庫県高砂市	プレーリードッグ	1
平成21年6月19日	富田 麻子	京都府京都市	モンゴル産置物「らくだと少年」陶器製	1
平成21年7月5日	那倉由利子	兵庫県姫路市	絨毯、民族帽子など	126
平成21年10月23日	I.ルハグワスレン	モンゴル国	絵画	1
平成21年11月5日	スーチンドロン	兵庫県篠山市	CD「内蒙古 民謡 民歌集翠」	1
平成21年11月12日	JENESYS モンゴル国高校生	モンゴル国	記念メダル「ウランバートル生誕370年記念」冊子	3
平成21年11月20日	今田 幸雄	兵庫県豊岡市	水甕	1
平成22年3月16日	山本 龍馬	兵庫県豊岡市	DVD,CD,馬頭琴	3
平成22年3月19日	如布青年会	兵庫県豊岡市	DVD「如布神社秋祭り」	5

(2) 図書・図録等寄贈者一覧 (敬称略・順不同)

【個人】

●平成20年度

森 隆男 (奈良県奈良市)

川見 雅子 (豊岡市日高町)

山元 泰生 (東京都江戸川区)

飯田 洋己 (豊岡市日高町)

細井 千裕 (京都府与謝郡与謝野町)

瀬崎 彊 (豊岡市日高町)

●平成21年度

田中 克彦 (東京都国立市)

那倉 由利子 (徳三) (兵庫県姫路市)

B. オヨンエルデネ外3名(モンゴル国ドルノゴビ県)

J. ミャンダス (モンゴル国)

瀬崎 彊 (豊岡市日高町)

【団体】

●平成20年度

小学館、日本経済評論社

●平成21年度

モンゴル国立自然史博物館長

2. 資料の貸出

●平成 20 年度

- ① 淀 逸郎
民族帽子 1 点
- ② (有) コンテンツ
ゲル外観・モンゴル相撲写真 4 点
- ③ 福住地区公民館
オオサンショウウオ模型
- ④ (株)トータルメディア開発研究所
モンゴルの伝統的な結婚式の様子写真 1 点、
画像 1 点
- ⑤ たんたん温泉
油彩画 1 点、日本画 1 点
- ⑥ 但馬国府・国分寺館
オオサンショウウオ着ぐるみ 2 点、オオサン
ショウウオ焼物 38 点、堰提(背景付) 1 点、
高橋小学校パネル 1 点
- ⑦ 兵庫県立北はりま特別支援学校
デール 4 点、民族帽子 4 点、帯 4 点
- ⑧ 但東中学校
映画「チンギス・ハン」(VHS)、図書「歴
史群像シリーズ チンギス・ハン」、デジタ
ル映像
- ⑨ 豊岡市教育委員会
絵画「賢妃マンドハイ」、絵画「貴族の夫婦」
- ⑩ スーチンドロン
DVD 7 点
- ⑪ 高橋地区公民館
ビデオテープ「国策に散った開拓団の夢」
- ⑫ 但馬国府・国分寺館
赤坂古墳 1 号墳出土須恵器「子持ち壺 1 点、
台付盤 1 点」

●平成 21 年度

- ① 淀 逸郎
民族帽子 1 点、CD (ゴビの馬頭琴弾き) 1 点
- ② 第一学習社
モンゴルの投石機(復元模型) 写真 1 点
- ③ 豊岡市国際交流協会
DVD (モンゴル 遊牧の地)、木椀 1 点、
風景パネル 10 点、型ぬきチーズ 2 点、
シャガイ説明版 1 点、ポーズ見本 3 点、
シャガイ 47 点、パンシ見本 10 点、
チーズ見本 13 点、ホーショール見本 4 点、
民族衣装 2 枚、民族帽子 1 点、帯 2 点
- ④ 株式会社春企画

モンゴル・ゲル写真 4 点

- ⑤ 第一学習社
モンゴルの牌符(復元)
- ⑥ 株式会社ペンハウス
プリント写真 5 点、CD データ写真 4 点
- ⑦ 綾部市立上林小学校
馬頭琴 1 点、民族衣装 2 点、民族帽子 2 点、
帯紐 2 点、シャガイ 10 点、チーズ見本 5 点、
ホーショール見本 3 点、ポーズ見本 3 点
- ⑧ 姫路市立上手野総合センター
民族衣装 3 点、民族帽子 2 点、帯紐 3 点
- ⑨ 豊岡市立合橋小学校
糸ぐるま

3. 資料の燻蒸

平成 20 年度、平成 21 年度は、それぞれ年 2 回ず
つ、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて全館を
対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系乳剤を噴霧
し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年 3 回蒸散剤を設置し殺
虫・防虫処理を実施している。

4. 備品の寄贈

平成 20 年 4 月 29 日、河部勇氏から下記の物品を
寄贈いただいた。

- ・芝刈り機 1 点

IV. 普及教育事業

1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協働し持参した博物館資料を活用するなどして、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

豊岡市および近隣の但馬管内の学校を中心に、幼稚園・小学校・中学校・高等学校を平成20年度は23校854人、平成21年度は36校1,847人を対象に出前授業を実施した。

●平成20年度

- ① 5月19日 豊岡市立資母小学校 6年生21名
「縄文時代の人々の暮らし」
- ② 10月29日 兵庫県立豊岡総合高等学校3年生160名
「異文化理解」
- ③ 1月27日 豊岡市立高橋小学校 5・6年生11名
「オオサンショウウオについて学ぶ」
- ④ 1月27日 豊岡市立五荘小学校 2年生136名
「スーホの白い馬」
- ⑤ 2月3日 朝来市立奥銀谷小学校2・3年生13名
「モンゴル文化に触れる」
- ⑥ 2月9日 朝来市立竹田小学校 2年生32名
「スーホの白い馬」
- ⑦ 2月13日 豊岡市立新田小学校 2年生・保護者42名
「スーホの白い馬」
- ⑧ 2月16日 京丹後市立吉原小学校 2年生28名
「モンゴルの暮らしについて」
- ⑨ 2月17日 朝来市立山口小学校 2年生・保護者41名
「モンゴルってどんな国？」
- ⑩ 2月19日 豊岡市立八条小学校 2年生58名
「モンゴルの暮らしについて」(しゃがぁ西村幹也氏、ネルグイ氏、クグルシン氏)
- ⑪ 2月20日 豊岡市立府中小学校 2年生49名
「モンゴルの民族音楽」
- ⑫ 2月24日 豊岡市立清滝小学校 1・2年生28名
「スーホの白い馬」
- ⑬ 2月24日 豊岡市立清滝小学校 4年生19名
「モンゴルを知る」
- ⑭ 3月3日 豊岡市立田鶴野小学校 2年生21名
「スーホの白い馬」
- ⑮ 3月3日 豊岡市立資母小学校 2年生20名
「スーホの白い馬」
- ⑯ 3月5日 養父市立浅野小学校1・2・3年生25名
「スーホの白い馬」
- ⑰ 3月6日 豊岡市立港東小学校 2年生15名
「スーホの白い馬」
- ⑱ 3月6日 香美町立柴山小学校 2年生21名
「スーホの白い馬」
- ⑲ 3月9日 豊岡市立合橋小学校 2年生18名
「スーホの白い馬」
- ⑳ 3月10日 朝来市立粟鹿小学校 2年生18名
「スーホの白い馬」
- ㉑ 3月12日 豊岡市立港西小学校 2年生16名
「スーホの白い馬」
- ㉒ 3月13日 京丹後市立大宮第三小学校 1～5年生41名
「モンゴルの自然と暮らし」
- ㉓ 3月16日 京丹後市立鳥取小学校 2年生21名
「スーホの白い馬」

●平成21年度

- ① 10月13日 福知山市立育英小学校 全校生45名
「国際理解」
- ② 10月30日 豊岡市立港中学校 全校生140名
「モンゴルのくらしと文化」
- ③ 1月8日 豊岡市立五荘小学校 2年生133名
「スーホの白い馬」
- ④ 1月21日 豊岡市立城崎小学校 2年生27名
「スーホの白い馬」
- ⑤ 1月25日 兵庫県立出石高等学校1・2年生320名
「遊牧民の音楽世界」(しゃがぁ西村幹也氏、E.ネルグイ氏、L.クグルシン氏)
- ⑥ 1月26日 豊岡市立高橋小学校 全校生60名
「遊牧民の音楽世界」(しゃがぁ西村幹也氏、E.ネルグイ氏、L.クグルシン氏)
- ⑦ 1月26日 けやきホール70人 (しゃがぁ西村幹也氏、E.ネルグイ氏、L.クグルシン氏)
- ⑧ 1月26日 香美町立奥佐津小学校 2年生・保護者17名
「スーホの白い馬」
- ⑨ 1月28日 朝来市立生野小学校 2年生・保護者34名
「スーホの白い馬」
- ⑩ 1月29日 香美町立柴山小学校 2年生13名
「スーホの白い馬」
- ⑪ 2月5日 福知山市立佐賀小学校1・2・3年生22名
「スーホの白い馬」

- ⑫ 2月8日 京丹後市立吉野小学校 2年生 12名
「スーホの白い馬」
- ⑬ 2月9日 豊岡市立静修小学校 2・3年生 27名
「スーホの白い馬」
- ⑭ 2月12日 朝来市立竹田小学校 2年生 27名
「スーホの白い馬」
- ⑮ 2月15日 豊岡市立港東小学校 2年生 12名
「スーホの白い馬」
- ⑯ 2月16日 朝来市立山口小学校 2年生・保護者 49名
「スーホの白い馬」
- ⑰ 2月18日 豊岡市立清滝小学校 1・2年生 29名
「スーホの白い馬」
- ⑱ 2月19日 豊岡市立八条小学校 2年生 71名
「スーホの白い馬」
- ⑲ 2月19日 豊岡市立新田小学校 2年生 36名
「スーホの白い馬」
- ⑳ 2月21日 京丹後市立久美浜小学校 2年生 20名
「スーホの白い馬」
- ㉑ 2月22日 京丹後市立峰山小学校 2年生 40名
「スーホの白い馬」
- ㉒ 2月23日 豊岡市立合橋小学校 2年生 20名
「スーホの白い馬」
- ㉓ 2月25日 豊岡市立三方小学校 2年生 24名
「スーホの白い馬」
- ㉔ 2月26日 京丹後市立吉原小学校 2年生 23名
「スーホの白い馬」
- ㉕ 2月26日 京丹後市立五箇小学校 2年生・保護者 19名
「スーホの白い馬」
- ㉖ 3月1日 養父市立八鹿小学校 2年生 47名
「スーホの白い馬」
- ㉗ 3月2日 豊岡市立田鶴野小学校 2年生 34名
「スーホの白い馬」
- ㉘ 3月4日 豊岡市立豊岡小学校 2年生 81名
「スーホの白い馬」
- ㉙ 3月5日 京丹後市立大宮第一小学校 2年生 94名
「スーホの白い馬」
- ㊀ 3月8日 京丹後市立大宮第二小学校 2年生 13名
「スーホの白い馬」
- ㊁ 3月9日 豊岡市立竹野小学校 2年生 32名
「スーホの白い馬」
- ㊂ 3月9日 豊岡市立竹野幼稚園 21名
「スーホの白い馬」
- ㊃ 3月11日 養父市立高柳小学校 1・2・3年生 57名
「スーホの白い馬」
- ㊄ 3月12日 朝来市立枚田小学校 2年生 48名
「スーホの白い馬」

- ㊅ 3月15日 豊岡市立港西小学校 2年生 25名
「スーホの白い馬」
- ㊆ 3月16日 京丹後市立川上小学校 2年生 15名
「スーホの白い馬」
- ㊇ 3月18日 福知山市立修齊小学校 2年生 90名
「スーホの白い馬」



出前授業風景

2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室、講座名、講師名、参加者数の順に記載

●平成20年度

- ① 6月5日 デールの塗り絵大会 21名
- ② 7月20日 オオサンショウウオ土鈴作り 4名
- ③ 7月22日 おはなしキャラバン
豊岡市立図書館職員 20名
- ④ 7月25日 おもちゃをつくって遊ぼう 12名
- ⑤ 7月28日 オオサンショウウオ土鈴作り 7名
- ⑥ 7月29日 切り絵教室 6名
- ⑦ 7月29日 オオサンショウウオ土鈴作り 6名
- ⑧ 8月1日 勾玉作り 15名
- ⑨ 8月2日 麦わら細工教室
谷垣雅子氏、杉本氏 16名
- ⑩ 8月8日 ペットボトルロケットを作ろう 7名
- ⑪ 8月8日 オオサンショウウオ土鈴作り 4名
- ⑫ 8月10日 麦わら細工教室
谷垣雅子氏、杉本氏 5名
- ⑬ 8月12日 オオサンショウウオ土鈴作り 1名
- ⑭ 8月19日 草細工に挑戦 6名
- ⑮ 8月22日 はっぱでそめてみよう 2名
- ⑯ 8月26日 モンゴルのペーパークラフト 2名
- ⑰ 8月28日 オオサンショウウオ土鈴作り 10名
- ⑱ 8月29日 絵本のよみ聞かせ
但東図書分館職員 6名

- ⑱ 9月27日 オオサンショウウオ土鈴作り 2名
- ⑳ 12月15日 オオサンショウウオ土鈴作り 15名
- ㉑ 12月21日 サンドブラスト体験 12名
- ㉒ 2月1日 雪まつり 120名
- ㉓ 2月6日 サンドブラスト体験 34名
- ㉔ 3月26日 サンドブラスト体験 17名

合計 24講座 350名



平成20年度体験教室 おもちゃをつくって遊ぼう

●平成21年度

- ① 7月4日 オオサンショウウオ土鈴作り 34名
- ② 7月11日 サンドブラスト体験 14名
- ③ 7月12日 サンドブラスト体験 15名
- ④ 7月20日 カップに絵を描こう 16名
- ⑤ 7月25日 七宝焼 18名
- ⑥ 7月28日 葉っぱでそめよう 3名
- ⑦ 8月8日 オリジナルグラス 25名
- ⑧ 8月8日 ペーパークラフト 13名
- ⑨ 8月11日 松ぼっくりでネズミのマスコット作り 3名
- ⑩ 8月13日 革細工 6名
- ⑪ 9月15日 オオサンショウウオ土鈴作り 3名
- ⑫ 9月27日 サンドブラスト体験 9名
- ⑬ 11月3日 革細工 7名
- ⑭ 2月2日 七宝焼 60名
- ⑮ 2月11日 しおりづくり 2名
- ⑯ 2月13日 革細工 6名
- ⑰ 2月27日 しおりづくり 2名
- ⑱ 3月7日 しおりづくり 9名
- ⑲ 3月29日 しおりづくり 2名

合計 19講座 247名



平成21年度体験教室 サンドブラスト体験

3. 講師派遣

館外からの依頼を受けて行った講師派遣等を月日・依頼者・内容の順に記載。なお、小・中学校からの依頼による出前授業については、普及教育事業1.出前授業に記載している。

●平成20年度

- ① 5月27日 兵庫県高齢者生きがい創造協会
『地方に暮らして世界を視る』
- ② 6月18日 豊岡市立高橋小学校
『オオサンショウウオを知る』
- ③ 8月2日 兵庫県教職員組合豊岡支部
親子で作る夏休み工作
- ④ 2月1日 豊岡市立高橋小学校
児童スキー教室

●平成21年度

- ① 8月8日 兵庫県教職員組合豊岡支部
『親子で作る夏休み工作』
- ② 1月28日 豊岡市立合橋小学校
児童スキー教室

4. 博物館実習生の受入

当館では、大学からの依頼により、博物館実習生を受け入れることにし、基本的に夏休み期間中に実習を行っている。博物館実習のカリキュラムは下記のとおりで、博物館職員全員が指導にあたり、資料の整理や調査方法などについて実習を行った。

●主な実習内容

ガイダンス、博物館の管理と運営、館内施設見学、博物館受付実習、博物館資料の取り扱い、考古資料の拓本・実測、博物館資料の写真撮影、展示解説実習、

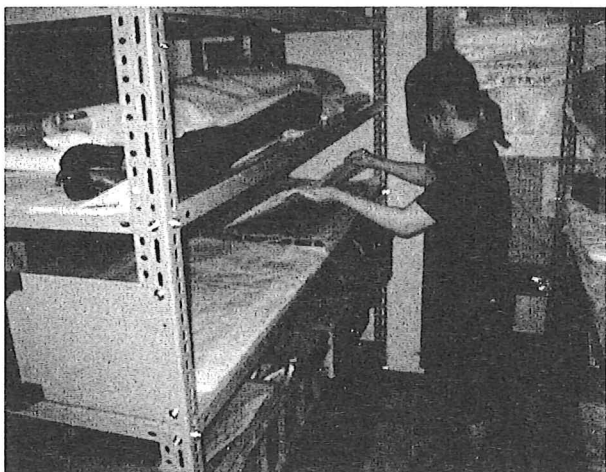
体験教室補助実習、他館類似施設の見学

平成20年度は、8月に実習生の受入を行った。実習生は1名で内訳は次のとおりである。

- ① 信州大学理学部物質循環学科 1名
8月4日～8月5日 2日間

平成21年度は、8月に実習生の受入を行った。実習生は1名で内訳は次のとおりである。

- ① 近畿大学文芸学部文化学科 1名
8月9日～8月14日 5日間



平成21年度実習風景（酒造資料整理作業）

5. 教員のための研修

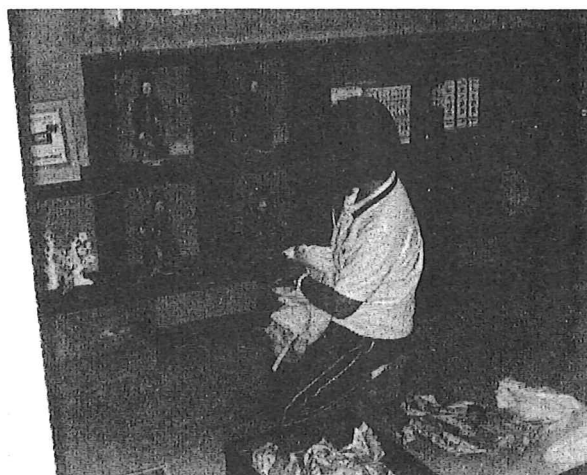
豊岡市教育委員会からの依頼により、市内に勤務する幼稚園・小学校・中学校教員対象の職場体験「先生のトライやる」を実施し、当館職員が指導に当たった。資料の確認、体験教室補助、窓口業務、清掃等施設管理など、博物館に対する理解を高めることができた。

●平成20年度

- 西垣恵子 教諭（豊岡市立高橋小学校）
7 / 28、7 / 31、8 / 1
和田浩明 教諭（豊岡市立日高東中学校）
7 / 28、7 / 31、8 / 1

●平成21年度

- 松本吉栄 主幹教諭（豊岡市立竹野小学校）
7 / 27、7 / 28、7 / 30
今田久美子 教諭（豊岡市立資母小学校）
7 / 27、7 / 28、7 / 30



「先生のトライやる」研修風景（ロビー展示替え作業）

6. 情報の発信と公開

博物館を有効に活用する利用者が増えるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは博物館にとって重要な活動の一つである。最近インターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

(1) 博物館の広報活動

- ① 博物館案内等の主な定期発送先
小学校176校 中学校10校 高等学校5校
報道関係機関等9社
② 報道機関への資料提供
③ 旅行会社への資料提供

(2) インターネットによる情報提供

- ① 電子メール
② ホームページ

インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平成11年8月16日からホームページを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>
ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

V. 国際交流事業

1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入や市内の中学生を中心とした友好訪問使節団の派遣、豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など多くの方との関わりのもと継続して行っている。また、旧但東町の国際交流業務については、以前は但東総合支所総務課が担当していたが、平成21年度から日本・モンゴル民族博物館が担当することとなった。

平成20年度・平成21年度についても研修生の受入や友好訪問使節団の派遣、モンゴル民族音楽コンサートの開催、モンゴル文化基金総裁をはじめモンゴル国関係者の来訪など、様々な事業を行った。

●平成20年度

- ①第8回モンゴル友好訪問使節団への協力 8/5～8/12
- ②21世紀東アジア青少年大交流計画への協力
- ③モンゴル民族音楽奏者 E.ネルガイ氏、L.クグルシン氏、西村幹也氏によるミニコンサートの実施。
(市内の小・中学校、近隣観光施設等) 平成21年2月
- ④モンゴル民族コンサートの実施(館内にて年4回)
- ⑤在日モンゴル人留学生の支援(研修生38名の受入)
平成20年6月21日～22日

※平成20年8月22日～8月26日 近畿日本ツーリスト主催「モンゴル博物館長と行くモンゴルの旅」に協力

●平成21年度

- ①モンゴル国の中学生2名(J. ヤダムスレン、G. エンフジン)を招聘し、市内2箇所ホームステイを行いながら市内の中学校へ通学。9/25～11/27
- ②21世紀東アジア青少年大交流計画への協力
- ③豊岡モンゴルシルクロード友好協会事務局長 S. デンベレル氏来訪
- ④モンゴル文化基金総裁・国立民族博物館客員教授 I. ルハグワスレン氏来訪
- ⑤モンゴル国立自然史博物館副館長 J. ミャンダス氏来訪
- ⑥モンゴル国ドルノゴビ県政府関係者(4名)視察
- ⑦モンゴル民族音楽奏者 E.ネルガイ氏、L.クグルシン氏、西村幹也氏によるミニコンサートの実施。
(市内の小・中学校、近隣観光施設等) 平成22年1月

2. モンゴル国研修生の受入

平成21年9月25日から11月27日までの約2ヶ月間、モンゴル国ウランバートル市内の中学生2名を受け入れた。(財)自治体国際化協会が行う自治体国際協力促進事業「モンゴル国青少年協力促進事業」の一環で、助成金の交付で実施している。

研修生は14歳と15歳の中学生で、招聘の目的は、豊岡市が推進している環境保全に対する取り組みを研修し、体験を通して自分達の将来のために必要な方法論と実践例を学ぶこと。また、豊岡市が果たす国際協力をより定着かつ日常的なものへ発展させ、あわせて国際化社会に対応できる人材育成を図るというものであった。約2ヶ月間にわたる滞在期間中、市内各所の施設研修や但東中学校・港中学校への通学、2軒のホームステイなど、多くの方々に温かく受け入れをしていただいた。

モンゴルに戻ってこれから更に、子どもたちによる未永い交流関係が構築され、研修生にとってより深く日本理解が出来たことは、大きな収穫であった

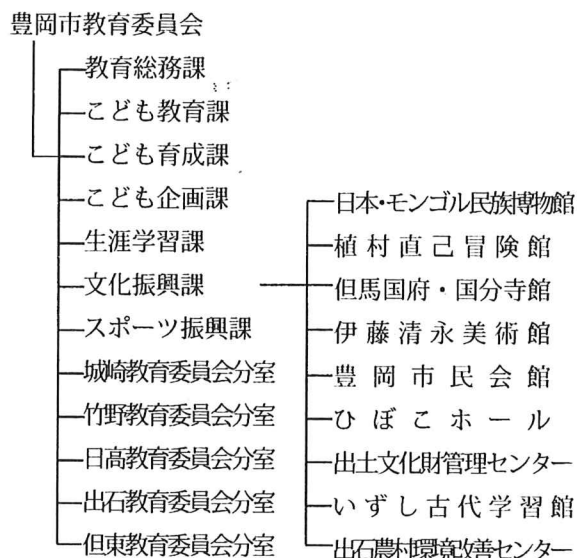


平成21年度モンゴル国研修生
(竹野スノーケルセンターでスノーケリングを行う)

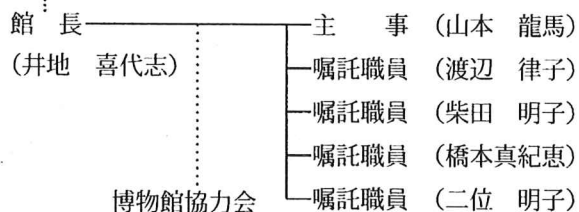
VI. 管理運営

1. 組織・職員 (平成22年3月31日現在)

(1) 組織



顧問 (福田 芳郎)



(2) 職員

- 館長 井地喜代志 (平成21年8月～)
(文化振興課参事、但東教育分室長兼務)
- 主事 山本 龍馬 (平成16年1月～)
- 嘱託職員 渡辺 律子 (平成8年11月～)
- 嘱託職員 柴田 明子 (平成13年4月～)
- 嘱託職員 橋本真紀恵 (平成17年4月～)
- 嘱託職員 二位 明子 (平成17年4月～)

(3) 事務分掌

- 井地喜代志 管理運営に関する事、講師の派遣に関する事、モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関する事
- 山本 龍馬 館の庶務、歳入歳出及び経理、常設展示、企画展示、出前授業及び講師派遣に関する事、教室・講習会の開催

- 渡辺 律子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関する事、館内外の管理に関する事
- 柴田 明子 ミュージアムショップに関する事、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関する事
- 橋本真紀恵 文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関する事、館内外の管理に関する事
- 渡辺 明子 文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関する事

2. 予算の概要 (決算額)

単位：千円 (百円以下四捨五入)

●平成20年度

[人件費] 25,120

- ①報酬 7,915 (嘱託職4名)
- ②給与 7,692 (一般職2名)
- ③職員手当等 6,181 (扶養手当138、通勤手当410、時間外勤務手当307、管理職手当574、期末手当3,731、勤勉手当1,021)

④共済費 3,314

[管理費] 10,103

- ①旅費 23
- ②需用費 7,209 (消耗品費534、燃料費116、印刷製本費130、光熱水費5,542、修繕料856、飼料費31)
- ③役務費 617 (通信運搬費526、保険料等91)
- ④委託料 1,464 (電気保安点検184、自動ドア点検55、消防設備点検10、芝生管理300、清掃管理346、警備265、資料燻蒸223、除雪81)

⑤使用料 745

⑥負担金 26

⑦公課費 19

[事業費] 2,576

- ①報償費 110
- ②旅費 15
- ③需用費 1,709 (消耗品費1,110、印刷製本費50、修繕料549)
- ④役務費 462 (通信運搬費458、保険料4)
- ⑤使用料 200
- ⑥備品購入費 80

●平成 21 年度

[人件費] 20,182

- ①報酬 7,915 (嘱託職 4 名)
- ②給与 4,677 (一般職 2 名)
- ③職員手当等 4,867 (扶養手当 46、通勤手当 432、時間外勤務手当 560、管理職手当 191、期末手当 2,957、勤勉手当 685)
- ④共済費 2,723

[管理費] 8,895

- ①需用費 6,669 (消耗品費 585、燃料費 74、印刷製本費 108、光熱水費 5,091、修繕料 773、飼料費 38)
- ②役務費 466 (通信運搬費 337、保険料等 129)
- ③委託料 1,490 (電気保安点検 175、自動ドア点検 55、消防設備点検 21、芝生管理 300、清掃管理 347、警備 265、資料燻蒸 200、除雪 127)
- ④使用料 226
- ⑤負担金 25
- ⑥公課費 19

[事業費] 2,040

- ①報償費 55
- ②需用費 1,584 (消耗品費 1,802、印刷製本費 38、修繕料 14)
- ③役務費 75 (保険料 75)
- ④備品購入費 56

3. 利用状況

当館は平成 8 年 11 月 3 日に開館し、13 年目を迎えた。内訳は、平成 20 年度は開館日数が 307 日で、入館者が 16,848 名、平成 21 年度は開館日数が 307 日で、入館者が 14,591 名であった。

平成 20 年度利用者は前年度と比べ 1.7% の減少、平成 21 年度は 13.4% 減少と、いずれも減少傾向となった。原因としては天候不順や新型インフルエンザの流行等の突発的な出来事による観光客の落ち込みと考えられる。利用者の推移及び内訳は以下のとおりである。参考として過去の利用者状況も記載する。

【平成 17 年度 (開館日：308 日)】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町 民	263	204	209	270	456	247	271	298	146	72	114	297	2,847
一 般	1,486	905	572	464	749	444	723	571	344	224	503	592	7,577
高 大	14	7	3	10	48	14	17	5	0	2	9	38	167
小 中	603	81	18	59	142	27	24	8	14	14	41	73	1,104
そ の 他	4,718	383	287	210	505	141	301	560	167	160	602	573	8,067
計	6,544	1,580	1,089	1,013	1,900	873	1,336	1,442	672	472	1,269	1,573	19,762
1日平均	242	59	44	38	73	34	50	58	28	20	53	61	64

【平成 18 年度 (開館日：302 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	873	381	297	405	381	209	127	159	125	150	157	175	3,439
一 般	5,952	4,069	2,138	1,306	938	630	801	1,040	420	416	646	589	23,044
高 大	43	87	21	19	57	6	2	7	3	0	13	29	287
小 中	1,049	887	192	229	199	29	31	39	18	29	126	93	2,921
そ の 他	7,210	2,493	1,516	1,147	630	346	353	740	208	186	454	364	15,647
計	15,127	7,917	4,164	3,106	2,205	1,220	1,314	1,985	774	781	1,396	1,250	41,239
1日平均	560	377	160	115	85	47	49	79	34	34	58	46	137

【平成 19 年度 (開館日：310 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	236	134	261	342	161	94	103	67	51	31	12	49	1,541
一 般	1,512	812	454	458	632	577	829	838	340	169	318	663	7,602
高 大	10	12	2	16	48	57	10	4	6	8	33	12	218
小 中	141	65	17	42	135	40	29	24	21	33	91	143	781
そ の 他	1,591	341	244	362	840	528	672	679	342	365	380	650	6,994
計	3,490	1,364	978	1,220	1,816	1,296	1,643	1,612	760	606	834	1,517	17,136
1日平均	130	53	38	45	70	50	63	62	33	26	33	56	56

【平成20年度（開館日：307日）】

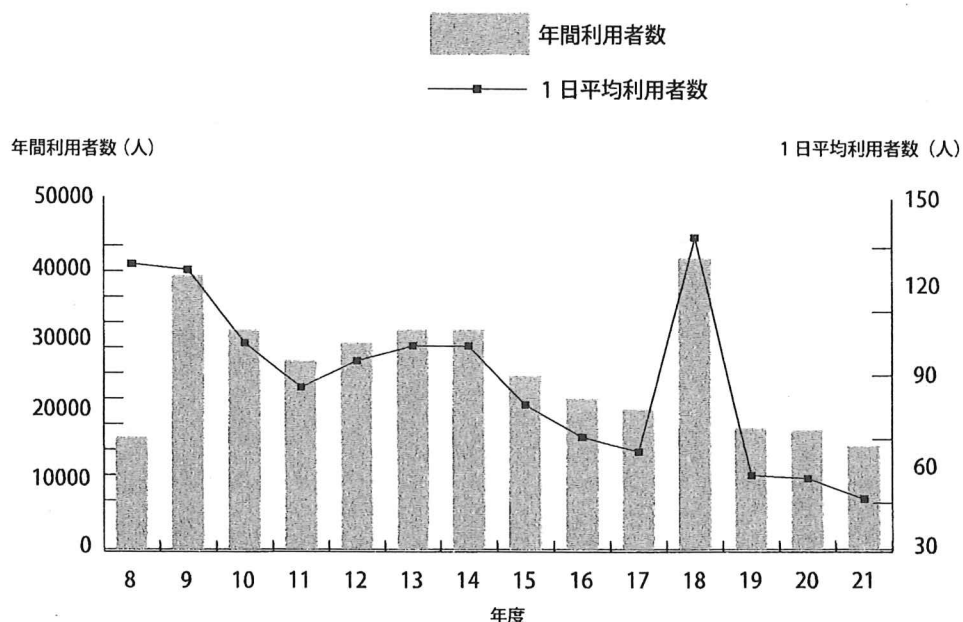
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協働地区	135	36	43	72	57	31	39	37	24	25	53	54	606
一般	1,461	617	283	300	535	535	685	684	386	169	535	528	6,718
高大	18	19	2	5	42	8	8	30	0	4	17	31	184
小中	158	76	5	15	82	28	48	27	11	17	42	62	571
その他	2,097	492	559	597	696	410	570	427	308	184	850	769	8,769
計	4,679	1,240	892	989	1,412	1,012	1,350	1,205	729	399	1,497	1,444	16,848
1日平均	180	46	34	38	52	39	52	46	32	17	62	53	55

【平成21年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協働地区	83	30	23	36	25	33	50	22	17	45	40	50	454
一般	1,059	459	260	385	484	452	507	588	238	325	459	511	5,727
高大	15	9	19	5	26	13	2	28	5	10	10	8	150
小中	126	56	10	46	103	42	10	17	3	39	34	69	555
その他	2,851	389	442	577	539	537	380	480	206	406	450	448	7,705
計	4,134	943	754	1,049	1,177	1,077	949	1,135	469	825	993	1,086	14,591
1日平均	153	35	29	40	44	43	35	44	20	36	41	42	48

参) 過去平成8年度～平成19年度の開館日数及び利用者数

年 度	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19
開館日数(日)	123	307	307	308	307	308	310	308	308	308	302	310
利用者数(人)	15,803	38,738	31,034	26,722	29,178	31,087	31,047	24,532	21,304	19,762	41,239	17,136
1日平均(人)	128	126	101	86	95	100	100	80	69	64	137	56



4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。平成20年度・平成21年度ともボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協力の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美化に協力をいただいた。

(2) 補修工事

① 伝承文化体験交流館エアコン修理工事(平成20年7月)
体験室のエアコンの温度設定が故障し、修理点検を行った。

② ブラインド修繕(平成21年2月)

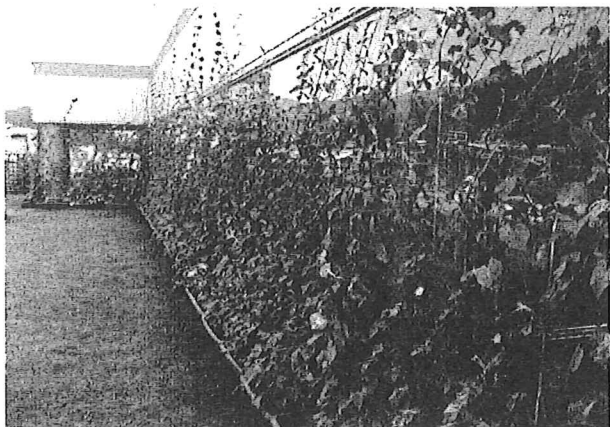
図書コーナー西側のブラインドが老朽化により、一部取替えを行った。

③ 給水管漏水工事(平成21年7月)

館内の水道使用量が増え漏水していることが判り、給水管の点検修理を行ったが、結果として漏水箇所は見えなかった。

④ アサガオのエコ・カーテン設置

A棟西側の図書コーナーは全面ガラス張りとなっているため、夏になると常に日差しが強く入り込む状態である。夏季のみ、アサガオによる壁面緑化「緑のエコ・カーテン」をA棟西側ガラス面40mにわたって施工した。緑のエコ・カーテンは直射日光を遮り、見た目にも涼しく、エアコンの電気代節減、CO₂削減にもつながるものである。



アサガオのエコカーテン設置

5. 博物館協力の会

博物館協力の会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声が上がリ、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成20年・平成21年の活動内容は以下のとおりである。

●平成20年

(1) 役員

会長 福田俊文 常任理事 塩川剛三
理事 13名 顧問 8名

(任期:平成20年1月1日~平成20年12月31日)

(2) 活動内容

① 各種事業への協力

博物館事業(雪まつり)にて参加者120名へ、うどん・餅の提供、会場設営などの協力をいただいた。

② 特産物販売所の管理・運営

4月18日から11月30日まで延べ41日、博物館前の販売所にて観光案内と物産販売を行い、多くのボランティアの協力を得た。また、博物館協力の会発起人の加藤廣巳氏に対して、長年にわたり販売所の開設等の活動として平成21年1月7日に金津館長から感謝状を贈呈した。

③ 博物館入館者への野菜の無償提供

④ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を年間2回ボランティアで行っていただいた。

●平成21年

(1) 役員

会長 福田俊文 常任理事 塩川剛三
理事 13名 顧問 8名

(任期:平成21年1月1日~平成21年12月31日)

(2) 活動内容

① 各種事業への協力

博物館事業として6回開催した企画展をはじめ、各種開催事業への協力をいただいた。

② 特産物販売所の管理・運営

4月15日から4月26日まで延べ12日間、博物館前の販売所にて観光案内と地域で生産している特産販売の協力を得た。なお、本年からは協会員の

高齢化等により、年末までの販売所開設は中止された。

③ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を年間2回ボランティアで行っていただいた。

平成21年11月13日 第2回研修会

平成22年2月12日 研究会

夏のイベント情報公開

はくぶつかんガイドの作成・配布

ホームページの更新

6. 各種委員会委員等の受諾

平成20・21年度に博物館職員が委嘱を受けた各種委員会、協会役員等は次のとおり。

金津 匡伸

① 兵庫県博物館協会理事

(平成14年4月～平成21年7月5日まで)

② 但馬博物館連絡会会長

(平成18年6月～平成21年7月5日まで)

③ 国史跡茶すり山古墳整備委員会委員

(平成17年8月～平成21年7月5日まで)

井地 喜代志

① 兵庫県博物館協会理事 (平成21年8月～)

② 但馬博物館連絡会会長

(平成21年7月6日～平成21年8月24日まで)

③ 但馬博物館連絡会監事 (平成21年8月25日～)

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成9年4月25日に設立され、平成22年3月末現在では18館が加盟している。当館は平成9年4月に加盟し、その後、幹事館となり、平成18年6月から平成21年8月まで事務局を務めている。

① 平成20年度

平成20年8月12日 第1回委員会

平成20年9月18日 総会、研修会

平成21年3月23日 第2回委員会

ミュージアムマップの修正・増刷・配布

ホームページ・ポスター等の相互配布・掲示

② 平成21年度

平成21年8月25日 総会

平成22年3月8日 研修会

ミュージアムマップの修正・増刷・配布

ホームページ・ポスター等の相互配布・掲示

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成22年3月末で141館が加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。当館は平成14年4月から理事館になっている。

● 平成20年度事業

平成20年5月27日 第1回理事会

平成20年6月24日 総会、第1回研修会

平成20年10月28日 第2回理事会

平成20年11月7日 第2回研修会

平成21年2月27日 研究会

夏のイベント情報公開

はくぶつかんガイドの作成・配布

ホームページの更新

● 平成21年度事業

平成21年5月12日 第1回理事会

平成21年6月11日 総会、第1回研修会

平成21年10月22日 第2回理事会

8. 博物館日誌抄

平成20・21年度の主な出来事を日報より抜粋して記載する。

●平成20年度

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 4月4日 | 但馬情報特急便企画展取材 | 6月3日 | モンゴル国バイラー夫妻来館 |
| 4月7日 | ハンザキ研究所へオオサンショウウオのマイクロチップはめ込み実習 | 6月5日 | 浜坂朝市婦人会31名見学、体験教室「民族衣装の塗り絵」開催 |
| 4月9日 | 企画展示替え | 6月7日 | 中央区労連14名見学、シルバー人材センター除草作業 |
| 4月10日 | 第39回企画展「草原の美 モンゴル民族の衣装」開催(～7/15) | 6月9日 | シルバー人材センター除草作業、消防施設点検 |
| 4月11日 | 産経新聞・朝日新聞取材、関西電気保安協会点検 | 6月10日 | 関西電気保安協会点検 |
| 4月13日 | 但東町赤野区73名来館 | 6月12日 | シルバー人材センター除草作業 |
| 4月14日 | やぎ小屋金網張り作業 | 6月13日 | シルバー人材センター除草作業 |
| 4月16日 | シルバー人材センター苔取り作業 | 6月15日 | 如布区除草作業 |
| 4月17日 | 読売新聞取材 | 6月16日 | 中山地区でオオサンショウウオ保護 |
| 4月18日 | チューリップまつり開園、博物館協力会販売所開設 | 6月19日 | 豊岡市立資母小学校21名校外学習来館 |
| 4月19日 | 日本海新聞取材 | 6月20日 | 神戸新聞オオサンショウウオ取材 |
| 4月21日 | シルバー人材センター苔取り作業、妙楽寺高年クラブ30名、神鍋観光協会18名、出石難病の会8名見学 | 6月21日 | モンゴル留学生38名見学・意見交換 |
| 4月22日 | シルバー人材センター苔取り作業、ネクスコ福知山料金所10名見学 | 6月27日 | 防火対象物査察 |
| 4月24日 | 産経新聞・日本海新聞取材、兵庫県立やまびこの郷9名校外学習来館 | 6月28日 | 豊岡市立高橋小学校2年生学P24名体験教室「勾玉づくり」 |
| 4月25日 | 東映からドラマ「青春の雲海」使用騎馬像撮影 | 7月1日 | 国立民族学博物館 久保教授来館 企画展確認 |
| 4月26日 | 上新田第3班21名、竹田中学校同窓会32名見学 | 7月5日 | 豊岡市立合橋小学校2年生学P24名見学 |
| 4月27日 | 産経新聞取材、もり・けん氏来館 | 7月6日 | 豊岡市立八代小学校2年生学P51名見学、豊岡市立資母小学校3年生学P45名見学 |
| 4月29日 | 河部勇氏 芝刈り機寄贈 | 7月7日 | 大和観光15名見学 |
| 5月1日 | 産経新聞取材 | 7月11日 | 豊岡市立南中学校特別支援学級8名校外学習来館 |
| 5月5日 | 日高町野地区子ども会28名校外学習来館 | 7月14日 | 7月14日 US8011名見学 |
| 5月7日 | 出石特別支援学校13名校外学習来館 | 7月16日 | 企画展示替え、消防訓練(博物館職員) |
| 5月10日 | モンゴル留学生3名、毎日放送三多記者来館 | 7月17日 | 第40回企画展「匠 受け継がれる但馬の手仕事」開催(～10/14) |
| 5月11日 | 神戸大学木村教授・松下教授 矢根地区古文書説明会 | 7月20日 | もり・けん氏他4名来館 |
| 5月12日 | 川糸寿会24名見学 | 7月21日 | 第8回モンゴル友好訪問使節団員14名館内研修 |
| 5月22日 | 豊岡市立資母保育園27名見学 | 7月22日 | 7月22日 伝承体験交流室エアコン修理(～23日)、但東図書館おはなしキャラバン(20名) |
| 5月27日 | 丹波新聞取材 | 7月24日 | 但馬情報特急便 企画展取材 |
| 5月30日 | 産経新聞取材 | 7月28日 | 神戸新聞・日本海新聞・産経新聞 企画展取材、体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催、「先生のトライやるウィーク」開始(～8/1まで) |
| 6月2日 | 豊岡市立北中学校3名「トライやるウィーク」見学 | 7月29日 | 体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」・「切り絵」開催 |
| | | 8月1日 | 体験教室「勾玉づくり」開催、オオサンショウウオ2匹を巣穴(資母小学校横)で確認 |
| | | 8月2日 | 体験教室「城崎麦わら細工」開催 |

8月4日	信州大学物質循環学科 谷垣道則氏 博物館実習(～8/5)	10月12日	プ24名見学 如布神楽 博物館駐車場で披露
8月5日	第8回モンゴル友好訪問使節団(10名)モンゴル国へ出発	10月13日	10月13日 兵庫県キャンプ協会6名来館、京都造形大学(1名)資料特別観覧
8月7日	但馬国府・国分寺館博物館実習生6名見学	10月15日	川上老人会15名見学
8月8日	体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」・「ロケットをつくろう」開催	10月21日	民生児童委員協議会給食会74名見学、兵庫県区自治会連絡協議会59名来館
8月10日	体験教室「城崎まわら細工」開催	10月26日	シルバー人材センター除草作業
8月12日	体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催	10月27日	豊岡市立港東小学校77名遠足
8月19日	体験教室「モンゴルの革細工」開催、細井千裕氏 モンゴル関係の本寄贈	10月28日	テレビ難視聴対応調査、全館燻蒸実施
8月22日	近畿日本ツーリスト主催「モンゴル博物館長と行くモンゴルの旅」出発(～8/26)、体験教室「はっぱでそめてみよう」開催	10月30日	(社)兵庫県退職公務員連盟掛龍支部24名見学
8月23日	ゴビサポートジャパン高橋功氏来館	11月4日	兵庫県立豊岡高等学校長・県教育委員2名来館
8月26日	体験教室「モンゴルのペーパークラフト教室」開催	11月6日	福知山市下天津寿楽会26名見学、養父市関宮小学校41名校外学習、朝日新聞企画展取材
8月28日	体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催	11月13日	JICEモンゴル高校生28名来館、電友会33名来館
8月29日	但東図書館 絵本の読み聞かせ実施	11月15日	「関西文化の日」入館料無料(～16日)
8月30日	但東町後区 糞調査	11月16日	但東町商工会青年部ペットボトルツリー作り
9月4日	シルバー人材センター除草作業、オオサンショウウオ個体・観察調査(～9/6)	11月17日	和田山町老人会13名見学
9月6日	京都北部盲ろう者たんぼの会15名見学	11月18日	福知山市柳菱クラブ26名見学、兵庫県立豊岡高等学校 書道作品12点入替
9月11日	害虫検査	11月20日	養父市関宮身体障害者福祉会7名見学、加古川いきいき健康サークル20名見学、産経新聞社来館
9月12日	外壁清掃、出土文化財管理センター 糞確認作業来館	11月24日	京都市在住 宇津崎氏・モンゴル人等4名来館、FMジャングル 西村氏来館
9月14日	馬頭琴ミニライブ開催(京都府南丹市在住 福井則之氏)	11月25日	神戸新聞 藤井氏取材
9月16日	国指定重要文化財建造物耐震化所有者診断・消防査察(日出神社)実施	11月27日	ホール"アートギャラリー"展示替え
9月18日	前但東町文化財調査委員6名見学、いきがい麦わらA12名見学	11月28日	下殿井水利組合15名見学
9月25日	いきがい麦わらB19名見学、姫路好古学園29名見学	11月29日	チューリップ球根植え付け作業
9月27日	体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催、毎日新聞 企画展取材	11月30日	馬頭琴コンサート開催(篠山市在住 ス・ポイントクス氏)、神戸新聞取材
10月2日	京丹後市立宇川小学校29名校外学習来館	12月2日	摩耶山を守ろう会20名見学、
10月3日	豊岡市立日高小学校94名校外学習来館	12月6日	竹野スノーケルセンター本庄所長来館、JA八東支部女性会18名見学
10月6日	三田市シルバー人材センター50名見学、県立考古博物館3名来館	12月7日	とよおか子ども野生復帰大作戦35名参加、神戸新聞取材
10月7日	姫路好古学園33名見学、毎日新聞・読売新聞取材	12月8日	姫路市北今宿農区18名見学
10月9日	兵庫県立豊岡高等学校長来館	12月11日	鳥取県岩美町農業委員会18名見学
10月10日	朝日新聞取材、西宮市みやみず園芸グループ	12月12日	福知山市藍同好会見学
		12月16日	町内古墳調査
		12月19日	竹野スノーケルセンター本庄所長来館
		12月21日	体験教室 奥矢根子ども会12名「ガラスエッチング」

12月27日	京都府立丹後郷土資料館資料課長 企画展 見学	2月27日	竹野スノーケルセンター本庄所長来館 豊岡市立弘道小学校 42名校外学習来館
1月13日	京丹後市立田村小学校 校外学習来館、京 丹後市立湊小学校 校外学習来館、但東図 書分館による図書整理、FMジャングル取 材	3月2日	京丹後市立黒部小学校 17名校外学習来館
1月14日	企画展示替え	3月3日	毎日放送三多記者来館
1月15日	第42回企画展「エラドンバトラ展」開催 (～3/10)、豊岡消防署による文化財防 火デー打合せ、豊岡市立図書館による図書 蔵書確認、読売新聞企画展取材	3月5日	京丹後市立海部小学校 9名校外学習来館
1月16日	神戸新聞企画展取材	3月6日	京丹後市立大宮第一小学校 98名校外学習 来館
1月19日	平成バス 27名見学、朝日新聞ミュージア ムガイド・企画展取材	3月8日	もり・けん氏来館
1月22日	豊岡市立資母小学校 12名「昔のくらし学 習」校外学習来館	3月10日	京丹後市立島津小学校 12名校外学習来館
1月24日	毎日新聞企画展取材、除雪機修理(～ 1/29)	3月12日	第43回企画展「D.ウルタナサン展」開催 (～4/14)、年金者舞鶴支部 32名来館
1月26日	文化財パトロール	3月15日	豊岡市こども野生復帰大作戦実施(154名 参加)
1月27日	朝日新聞取材	3月17日	全館 ガラス・外壁清掃(～18日)
1月30日	文化財防火デーパトロール	3月22日	京都市宇津崎氏来館、竪穴式住居屋根強風 で損傷
2月1日	雪まつり(120名参加)、但馬天満宮へ絵 馬奉納	3月27日	兵庫県立豊岡高等学校長来館
2月5日	関西電気保安協会 保守点検	3月30日	豊岡市立但東中学校長来館、朝日新聞企画 展取材
2月6日	クラーク記念国際高等学校 体験教室「ガ ラスエッチング」及び見学 34名	3月31日	豊岡市立資母小学校校長来館
2月10日	京丹後市立丹波小学校 21名校外学習来館	●平成21年度	
2月13日	豊岡市立福住小学校 35名校外学習来館、 豊岡市立寺坂小学校 5名 校外学習来館、 舞鶴トラベル 11名見学	4月2日	豊岡市立資母小学校校長来館
2月14日	河内枚岡陸運友交会 38名見学	4月3日	豊岡市立但東中学校長来館
2月16日	京丹後市立吉野小学校 2年生 校外学習来館	4月9日	プランター入替え、“たんとうの森”ケース 内を展示替え(～10日)
2月17日	国際交流協会但東支部役員と打合せ	4月10日	シルバー人材センター竪穴式住居屋根修理
2月19日	京丹後市立長岡小学校 24名・溝谷小学校 16名・吉野小学校 20名校外学習来館、しゃ がぁ西村幹也氏・E.ネルグイ氏・L.クゲ ルシン氏による馬頭琴・ドンブラミニコン サート実施～21日まで、神戸新聞取材	4月13日	産経新聞来館
2月21日	モンゴル民族音楽ミニライブ、くすのき学 級 14名見学	4月14日	養父市畑老人会見学、電気保安協会保守点検
2月23日	豊岡市立小野小学校 39名校外学習来館、 下六人部農区長会 11名見学	4月15日	たんとうチューリップまつり開園、FM ジャングル取材
2月24日	京丹後市立新山小学校 26名校外学習来館、 FMジャングル取材	4月16日	NHK「ぐるっと関西おひるまえ」放映で 館内取材、神戸新聞取材、県立但馬やまび この郷 9名校外学習来館
2月25日	全館フロア清掃	4月17日	あさご芸術の森館長来館
2月26日	京丹後市立神野小学校 20名・久美浜小学 校 22名・川上小学校 9名校外学習来館、	4月18日	馬頭琴ミニコンサート(360名参加)
		4月19日	京都市在住宇津崎氏来館、八鹿高等学校 OB会 14名見学
		4月21日	朝日新聞企画展取材
		4月23日	県立但馬やまびこの郷 13名見学、岡山県 勝央簡保名所めぐり旅行会 36名見学
		4月25日	日高町若竹の会 11名見学、奥田副市長外 6名来館
		5月12日	100年会 8名見学、全館燻蒸
		5月14日	豊岡消防署 消火栓点検、自動ドア点検
		5月15日	神美幼稚園 20名見学、電話回線点検
		5月16日	加古川市大国老人クラブ 27名見学、神戸で

5月29日	光ケーブル回線工事、電話機入替え作業	8月2日	スポーツクラブ 21 しぼ 40 名体験「カレー作り」
6月1日	竹内小学校同窓会 13 名見学	8月3日	井地館長辞令交付式、職場検診
6月2日	シルバー人材センター除草作業（～4日）	8月4日	但馬国府・国分寺館 学芸員実習 7 名来館、先生の「トライやるウィーク」2 名（～7日）
6月4日	トライやるウィーク但東中学生 4 名受入、エコカーテン設置作業（～5日）	8月8日	体験教室「オリジナルグラスを作ろう」開催（たまりば資母と共催）、兵庫県教職員組合豊岡支部教育研究集会校外学習来館
6月8日	関西電気保安協会保守点検、関西電力検針	8月9日	近畿大学文芸学部文化学科博物館実習（～14日）
6月11日	豊岡市立資母幼稚園 25 名ユスラウメ採取、モンゴル交流推進事業第 1 回打合せ	8月10日	奈良ガールスカウト 21 団 11 名見学、しおり作り実施、台風 9 号豪雨被害による文化財調査
6月14日	如布区太田川草刈・博物館除草作業	8月11日	体験教室「松ぼっくりでネズミのマスクットを作ろう」開催
6月15日	広島大学生 10 名見学、豊岡市立資母保育園 21 名見学	8月13日	体験教室「革細工」開催、日本・ボーイスカウト大阪第 142 団 30 名見学
6月19日	同窓会 17 名見学、読売新聞取材	8月17日	しおり作り実施
6月25日	漏水調査	8月18日	神戸大学 木村教授・松下教授による文化財調査（奥矢根・矢根）、エアコン（伝承文化室・シルクロード・企画展示室）故障
6月27日	近畿大学学生学芸員実習打合せ	8月27日	新型インフルエンザ対策で博物館入口に消毒液設置
6月28日	童謡ウォーク実行委員会 7 名来館	9月6日	養父市財長ふるさと創造の会 21 名見学
6月30日	展示替え	9月9日	企画展示替え
7月2日	第 45 回企画展「チベット・タンカ」開催（～9/8）	9月10日	第 46 回企画展「世界の刺繍～糸が描く花と樹～高橋紀世子コレクション」開催（～12/8）、氷上市国際交流協会会長来館
7月3日	資母地区公民館前の道標を赤坂古墳園に移設	9月11日	但馬地域博物館連絡会引継ぎ事務
7月4日	福知山市議会議員・商工会他 12 名見学、豊岡市立福住小学校 34 名校外学習来館	9月15日	体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催、有野台鶴令会 47 名来館、外壁清掃（～16日）
7月5日	金津館長午前 3 時死去（享年 51 歳）	9月18日	シルバー人材センター除草作業（～19日）
7月6日	消防設備点検、金津館長葬儀打合せ、通夜（蔵雲寺）	9月21日	シルバー人材センター除草作業（～22日）
7月7日	金津館長葬儀	9月25日	モンゴル国研修生・モンゴル豊岡友好協会事務局長 S. デムベレル氏来豊（～11/27）、京丹后市立三津小学校 13 名見学、シルバー人材センター除草作業
7月8日	全館フロアー清掃、トイレ漏水工事（～14日）	9月26日	神戸新聞沖永総局長来館、モンゴル国研修生歓迎会、童謡ウォーク実行委員会打合せ
7月9日	長野県上田市議会 10 名見学	9月27日	童謡ウォーク開催（実行委員会主催）
7月11日	豊岡市立高橋小学校 2 年学 P24 名サンドブラスト体験教室、漏電通報器具取替え	9月28日	あやべ作業所 9 名見学、神戸新聞沖永総局長来館、モンゴル国研修生・モンゴル豊岡友好協会事務局長 S. デムベレル氏 市長表敬訪問
7月12日	豊岡市立資母幼稚園学 P37 名サンドブラスト体験教室	9月29日	豊岡市立日高小学校 70 名遠足、産経新聞企画展取材、毎日放送三多記者来館
7月14日	豊岡市立豊岡南中学校特別支援学級 8 名見学、伝承文化室、いろいろ端空調機点検		
7月16日	きづな苑 22 名見学		
7月17日	童謡ウォーク打合せ		
7月20日	体験教室「カップに絵を描こう」開催、図書端末工事・パソコン入替え		
7月21日	神戸新聞取材		
7月25日	体験教室「七宝焼」開催（たまりば資母と共催）		
7月26日	豊岡市立資母小学校 2 年学 P 40 名サンドブラスト体験教室、体験教室「クラフト」開催		
7月27日	先生の「トライやるウィーク」3 名受入（～30日）、一橋大学田中克彦名誉教授来館		
7月28日	体験教室「葉っぱで染めよう」開催、伊藤清永美術館長来館		
7月30日	シルバー人材センター除草作業		

10月2日	如布老人会・豊岡市立但東中学校・豊岡市立資母小学校交流会 38名見学	12月23日	しおり作り実施
10月8日	台風18号襲来に伴い文化財被害調査	12月26日	朝日新聞企画展取材
10月11日	博物館前にて如布地区神楽奉納	1月7日	日交OB会 名見学
10月13日	全館害虫駆除	1月11日	豊岡市マスコット「玄さん」来館（来館者へ缶バッチプレゼント）
10月15日	シルバー人材センター除草作業	1月12日	宮津市府中老年人会 23名見学
10月20日	三十里会 18名見学、日本海新聞取材、スーチンドロン氏来館	1月14日	産経新聞取材
10月23日	外務省アジア大洋州モンゴル研修生4名来館、モンゴル国自然史博物館職員J. ミヤングラス氏来館（～24日）、人材センター除草・土入替え作業	1月17日	京丹後市立丹波小学校 名体験教室
10月24日	いなみ野学園学生自治会 小野・加東支部 22名見学	1月18日	図書整理（但東図書分館）、うれしの学園生涯大学東条支部 21名見学
10月27日	神戸市やまびこ会 23名見学	1月21日	ひぼこホール館長来館
10月28日	人材センター芝生の土入作業（～30日）	1月22日	但馬国府・国分寺館長来館
10月29日	香美町社会福祉協議会 ひとり暮らし高齢者のつどい 43名見学、うれしの学園生涯大学 38名見学	1月24日	西村幹也氏・E.ネルグイ氏・L.クグルシン氏・モン関西 館内にて「馬頭琴とドンブラミニコンサート」開催、神戸新聞取材
10月30日	上郷老人会 16名見学	1月25日	京丹後市立神野小学校 14名校外学習来館
11月3日	体験教室「革細工」・「切り絵」開催	1月26日	文化財パトロール
11月4日	全館フロア一清掃	1月27日	企画展展示替え、西村幹也氏・E.ネルグイ氏・L.クグルシン氏 グループホームこころ・たんたん温泉にて「馬頭琴とドンブラミニコンサート」開催
11月5日	朝来市和田山町筒江老人会見学、但馬国府・国分寺館実習生 3名来館	1月28日	第48回企画展「楮のぬくもり～あかり・春夏秋冬～」開催（～3/2）、京丹後市立湊小学校 6名、田村小学校 8名校外学習来館
11月12日	神戸市兵庫区鍼灸マッサージ師会 20名見学、興長寿会 13名見学、JICE モンゴル国高校生 29名見学	1月29日	文化財パトロール
11月14日	「関西文化の日」入館料無料（～11/15）	1月31日	Tio 取材・打合せ
11月15日	地域振興アドバイザー懇談会（但東総合支所総務課主催）	2月1日	豊岡市立寺坂小学校 8名校外学習来館
11月19日	守成会 17名見学	2月4日	京丹後市立長岡小学校 16名校外学習来館、毎日新聞企画展取材
11月20日	博物館裏駐車場がドクターヘリ発着場候補に認定	2月7日	但馬天満宮へ絵馬奉納
11月22日	モンゴル国研修生 研修報告会 & さよならパーティ	2月8日	京丹後市立新山小学校 45名校外学習来館
11月23日	秋田自治会 36名見学	2月9日	但馬国府・国分寺館長来館、毎日放送三多記者来館、豊岡市立静修小学校 校外学習来館
11月26日	モンゴル国研修生 市長婦国報告、JTB・西之町親睦会 16名見学	2月11日	しおり作り実施
11月27日	モンゴル国研修生帰国	2月13日	体験教室「革細工」開催、京田辺市NP O 法人 11名見学、みゆき会 21名見学、読売新聞・神戸新聞取材
11月30日	自動ドア点検	2月15日	けやきホール 8名見学
12月3日	関西保安協会保守点検	2月16日	京丹後市立佐濃小学校 15名校外学習来館
12月9日	企画展展示替え	2月18日	京丹後市立島津小学校 22名校外学習来館、ラジオ関西「谷五郎のこころにきく」で日本・モンゴル民族博物館中継
12月10日	第47回企画展「天空に舞う凧」（～1/26）	2月21日	後藤クラブ 22名見学
12月11日	豊岡市国際交流協会但東支部役員と懇親会（協会主催）	2月23日	豊岡市立資母小学校 22名校外学習来館
12月14日	神戸新聞・読売新聞企画展取材	2月25日	ねずみ会 16名見学
12月15日	関西技術工業 消防器具点検		

2月26日 京丹後市立海部小学校 16名校外学習来館
 2月27日 しおり作り実施
 3月1日 京丹後市立間人小学校 23名校外学習来館
 3月3日 企画展展示替え
 3月4日 第49回企画展「昭和年代の資母地区～写真で見る地域の姿」開催（～4/6）
 3月5日 山羊小屋修理
 3月7日 川西市きのこ部会8名見学
 3月8日 モンゴル国個別訪問（山本主任～3/14）
 3月11日 京丹後市立丹波小学校 16名 校外学習来館、豊岡市農地・水環境保全会 19名見学
 3月12日 植村直己冒険館長来館
 3月16日 毎日放送三多記者来館
 3月17日 全館フロア清掃
 3月18日 豊岡市立資母小学校 18名 校外学習来館
 3月19日 但馬国府・国分寺館長来館、如布青年会如布神社秋祭りDVD寄贈
 3月22日 しおり作り実施、フフデリゲル氏・水谷東洋氏来館
 3月25日 体験教室「馬頭琴」、しおり作り実施
 3月26日 外壁清掃（～29日）
 3月29日 みのり建設8名見学、しおり作り実施
 3月30日 けやきホールディサービス 18名見学

豊岡での单身生活を始め（H20年4月～）但馬の魅力を満喫するため、土日を使いたい。最初がモンゴル館とチューリップまつり。

- ◎4月21日 愛媛県宇和島市（女性）
他の人にも教えてあげたいと思いました。モンゴルが好きなので、こちらに来てとても良かったです。
- ◎4月24日 兵庫県神戸市（女性）
いつかモンゴルに行きたいと思います。
- ◎4月27日 兵庫県三木市（女性）
衣装がきれてたのしかったです。
- ◎4月27日 京都府舞鶴市（男性）
プレーリードックが見られず残念でした。荷物をあずかってくださってありがとうございます。
- ◎4月27日 京都府左京区（女性）
モンゴルの生活について、よくわかりました。
- ◎4月28日 兵庫県加西市（女性）
モンゴルの衣装がきれて良かった。でも写真をとる場所がほしかった。
- ◎5月4日 奈良県北葛城郡（女性）
スーホの白い馬に見入ってしまいました。
- ◎5月4日 埼玉県所沢市（男性）
素晴らしい展示でした。特に馬頭琴に興味があるため、展示されている馬の毛のモリンホールがどんな音がするか、是非聞きたいと思いました。私のナイロンの物とは全く異なる音色がしそうです。
- ◎5月4日 兵庫県朝来市（女性）
もっと体験できるものが多くあれば、より楽しいと思う。
- ◎5月6日 兵庫県赤穂市（男性）
同じ兵庫県に住んでいるのに、まったく知らなかった。すごく良いのにもったいない。もっとアピールしてください。
- ◎5月6日 岡山県倉敷市（男性）
よく色々の資料を集められ驚きました。愛犬ブームなのでモンゴル犬の写真を展示されてはどうでしょうか。
- ◎5月12日 京都市左京区（男性）
思っていたより、とても興味が持てる楽しい博物館だった。なぜ、ここにモンゴル？ 但東と関係があるの？よく分からなかったが、せっかくのいい博物館なので、もっと人が来ることを望みます。
- ◎5月24日 兵庫県加古川市（男性）
充実した内容で、よく理解しやすい。5Sがいき届いていて、気持ち良かった。
- ◎6月1日 大阪府豊中市（男性）
これを機会に、いつかモンゴルへ行くことができたらと思っています。

9. お客様の声から抜粋

以下は平成20・21年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

●平成20年度

- ◎4月10日 兵庫県丹波市（男性）
今までゆっくりとした時間がもてなかったのが、博物館があるのは知っていましたが、今日来てみてとても良かったです。これから歴史を勉強する孫達と又、一緒に来たいと思います。説明してもらえたので気に入りました。
- ◎4月13日 兵庫県姫路市（男性）
友人や先生が衣装を着てくれ、たいへん良い写真が撮れました。
- ◎4月14日 兵庫県多可郡（女性）
すばらしいモンゴルの風景を目のあたりで見たような錯覚にとらわれました。
- ◎4月19日 兵庫県豊岡市（男性）

- ◎ 6月3日 大阪市西淀川区 (女性)
モンゴルという国は知っていましたが、こんなにすばらしい国とは思いませんでした。
- ◎ 6月7日 兵庫県神戸市 (女性)
今モンゴルの力士さんが多いので、朝青龍や白鵬などのことも一緒に展示されたら楽しいのでは？ プレーリードック一匹で寂しそうです。(涙)
- ◎ 6月8日 兵庫県香美町 (男性)
以前は自分だけで見学したが、本日は案内係がよく説明して下さりよく分かりました。
- ◎ 6月17日 兵庫県姫路市 (男性)
こんな立派な展示館があるのにPR不足とされます。年1回モンゴル祭(イベント)をしてPRしてはいいか？ 馬(人形)に乗って勇ましい姿(モンゴル船)で記念写真が出来たらいいかも。
- ◎ 6月21日 京都市左京区 (女性)
モンゴルの留学生たちで来ました。はじめて、このような博物館があることを知り、見に来ました。大変良かったです。
- ◎ 6月29日 兵庫県伊丹市 (女性)
想像以上に満足しました。子供も、それぞれ見っていて、良かったです。
- ◎ 7月6日 兵庫県神戸市 (女性)
モンゴルの歴史をいろいろ知れて、モンゴルの家の中にも入れて良かったです。
- ◎ 7月14日 兵庫県姫路市 (女性)
娘がモンゴルのウランバートルの日本語の教師として行きましたので、大変、興味深く拝見させて頂きました。
- ◎ 7月14日 兵庫県西宮市 (男性)
今迄、遠い存在だったモンゴルの文化を身近に感じとることができた。又、説明もすばしかった。
- ◎ 7月21日 京都市右京区 (女性)
もう少し説明(高声)がしてほしい。
- ◎ 7月28日 兵庫県伊丹市 (女性)
1人でいると、ちょっと恐かったです。モンゴルの服が着れたのは良かった。
- ◎ 8月7日 兵庫県豊岡市 (男性)
大学でモンゴルの事を研究していきたいと考えているので、とてもいい勉強になった。また、足を運びたい。
- ◎ 8月8日 京都府福知山市 (女性)
久しぶりに来たけど、やっぱりいいです。とても勉強になったし、良かったです。
- ◎ 8月8日 石川県小松市 (男性)
オオサンショウウオは常設して下さい。サイズの大きい服を用意してほしい。
- ◎ 8月14日 兵庫県川西市 (女性)
但東町のすばらしさの一端を感じました。
- ◎ 8月14日 大阪府堺市 (女性)
モンゴルの服を着たりするのが、とても楽しかったです。モンゴルの家とかが特徴があって、おもしろかったです。
- ◎ 8月16日 大阪府柏原市 (女性)
思っていた以上に楽しかったです。モンゴルをこんなところで味わえるとは！
- ◎ 8月16日 大阪府岸和田市 (男性)
絵が素晴らしかったです。モンゴルに興味がありました。しかし、表の馬が一番すごいです。
- ◎ 8月17日 京都府京丹後市 (男性)
柳行季のなつかしい姿を見ました。黒枠ではありませんでしたが、どんごろす(布)のカバーをかけた物で、寄宿舎生活をした頃の事を想像しました。伝統のある物が少なくなって来ることが残念です。
- ◎ 8月17日 兵庫県宍粟市 (男性)
今のモンゴルをもっと紹介してもよいのではないのでしょうか。風景のビデオ(大画面)流して欲しい。
- ◎ 8月30日 大阪府豊中市 (女性)
もともと民族文化に興味があったので、偶然見つけた博物館ですが、来てみて良かった。30代でも楽しめました。
- ◎ 9月13日 大阪府豊中市 (男性)
丁寧にご説明頂き有難うございました。よくわかりました。
- ◎ 9月14日 兵庫県神崎郡 (男性)
もう少しサイズの小さい服があれば良いと思いました。
- ◎ 9月20日 大阪府高槻市 (女性)
民族衣装を色々試すことができ大変良い体験ができ楽しかったです。
- ◎ 9月28日 大阪府八尾市 (女性)
モンゴル博物館は初めてですが、すごく興味深く楽しいです。服を着れるところが良かったです。
- ◎ 10月6日 兵庫県三田市 (男性)
モンゴルと中国の関係、新聞紙上を思いながら興味深く見学させていただきました。
- ◎ 10月6日 兵庫県三田市 (男性)
見る物、大変感動した。子供達とも一度見たい。
- ◎ 10月7日 兵庫県尼崎市 (女性)
モンゴルの服を着れるのは良かったです。楽しかったです。
- ◎ 10月19日 兵庫県神戸市 (女性)
展示物の説明が少ないと思います。また、ウルタナサン氏のすばらしい絵が、あまり活用されていないのでは？ もったいないです。せっかくキレイな施設な

のに残念です。

◎ 11月3日 兵庫県養父市 (女性)

ふくろうの民話のお話など、とても楽しいひと時でした。企画展も父から聞かされた話など思い出し(我家も紺屋でしたので)なつかしく、いい勉強になりました。

◎ 11月3日 兵庫県豊岡市 (女性)

久しぶりに来ました。展示はとても興味深く拝見しました。図書コーナーでゆっくりできるのが、とても良いです。

◎ 11月6日 京都府 (男性)

職員の対応がよくて心が安まる思いでした。友人、組織、団体等に伝えて多くの人の来館を応援したい。

◎ 11月9日 奈良県橿原市 (男性)

期待以上、昨日のTVで見て来て良かった。

◎ 11月16日 兵庫県豊岡市 (女性)

くらしの中の木綿展を楽しみにしていました。もっと、日本の布を広めてほしい。

◎ 11月24日 京都府長岡京市 (女性)

ただの通りがかりだったのですが、思った以上に楽しめ、内容も良かったです。観光案内にのってないのが不思議です。

◎ 11月30日 大阪府豊中市 (男性)

何回来ても楽しめます。今日は、やっとプレーリードックをじっくり見ることができました。めでたし、めでたし。これからも来るので、いろんな企画をお願いします。

◎ 11月30日 京都府綾部市 (女性)

今回の木綿の展示は、緋の技法・型紙、各地の紹介、人形等とても興味深く拝見させて頂き、心なごみ、なつかしく心豊かになりました。このような企画が再度行われますよう期待致します。

◎ 12月2日 兵庫県豊岡市 (男性)

初めて見学し大変感動しました。但馬の人でも、あまり知られていないかも。より宣伝して下さい。

◎ 12月13日 兵庫県加古川市 (男性)

企画展「くらしの中の木綿 あやとりどり」なかなか味わいのある内容でとても参考になりました。型紙の展示、そのユニークさに驚きました。

◎ 12月14日 兵庫県西宮市 (女性)

ゲルの中を興味深く拝見しました。民族衣装も試着でき楽しかったです。

◎ 12月23日 兵庫県 (女性)

とても嬉しかったです。昔、私の身近にあった(身に付けていた)ものばかりで、なつかしく思いました。布に関して、今勉強中だったので、より理解が出来て良かった。私の家にも、この様な布があるのですが、

大事にして何かに活せていこうと思います。心もなごやかになって本当に嬉しかったです。遠方から来た甲斐がありました。

◎ 12月23日 兵庫県豊岡市 (女性)

まず、モンゴルの展示にひきよせられました。人々のくらしぶり、衣食住その一つ一つに謙虚な精神性を感じ、ふっと大切なもの、私にもたしかにあった幼き日々の感触を思い出しました。すごくなつかしいものを感じます。

◎ 12月26日 奈良県大和郡山市 (女性)

こんな所にすばらしい所、いい学びをさせて頂きました。

◎ 1月18日 鳥取県 (女性)

モンゴルの民族衣装が着れたのが良かったです。文化にふれることができ楽しかったです。

◎ 1月18日 茨城県常陸太田市 (女性)

エラドンバトラ展を見たくて来ましたが、常設展もとても興味を持って拝見することができました。いつかモンゴルに行きたいと思っています。チベット仏教にも興味があったので、本当に充実した時間を過ごすことができました。日本にこのようなすばらしい博物館があって良かったです。

◎ 2月1日 兵庫県豊岡市 (女性)

どの作品もすばらしく孫はすごいと大喜びでした。私は特に生命の源にすいこまれてしまいました。

◎ 2月14日 兵庫県西脇市 (女性)

衣装が着れたのが楽しかったです。子供用の衣装などがあれば、なお良かったです。

◎ 2月21日 兵庫県加古川市 (男性)

企画展：エラドンバトラ展、鑑賞させて頂き、ありがとうございました。モンゴルの草原、ぬくもりのある人間関係、たくましさ、風土と人間の関係等々がよく理解できました。

◎ 3月8日 兵庫県豊岡市 (女性)

正直言って、小さい資料館なのに中身が充実していることに驚きました。もっと大したことがないと思っていたのです。モンゴル人の生活の様子がかいまみれて良かったです。また、小学生と幼児にも興味を持てるような内容で良かったです。豊岡に住んで9年。モンゴル館の存在は知っていましたが、一度も訪れたことはありませんでした。モンゴルを身近に感じられて面白かったです。

◎ 3月14日 兵庫県朝来市 (女性)

子どもの教科書にスーホの白い馬がありました。毎日、子供が音読をしてくれるのを聞いていて、モンゴルはどんな所か興味がありました。民族衣装のデールも着てみて楽しかったです。ゲルの中も入ってみて、

少し生活がのぞけたようでした。

◎ 3月27日 京都府福知山市 (女性)

さすが仏教の国、孫について来ましたが、モンゴルはチンギス・ハンの祖国、これから、もう少しモンゴルに付いて勉強をしなければ・・・日本国の友好国になりたいと思う。

●平成21年度

◎ 4月3日 京都府京丹後市 (男性)

何時も多彩な展示を計画していただいて楽しみです。豊富な資料の保存、今後も続けてください。

◎ 4月5日 兵庫県豊岡市 (男性)

外から見た時は小さかったけど、中はとても広くてモンゴルの生活から競技に、宗教までとても詳しくわかりやすく良かったです。また、おとずれる機会があれば、また来たいと思います。

◎ 4月13日 大阪府枚方市 (男性)

意外と知らないモンゴルって感じ。チベットとかの方が若干しられているか？もう少し資料が多ければ良かったと思わなくてもないが、大変素晴らしかった。感謝・感謝。

◎ 4月18日 兵庫県豊岡市 (男性)

モンゴルは、いっぱいおもしろいものがあった。あのゲルでの生活を少しだけ楽しんでみたいかなあ〜。(笑)これでモンゴルに興味を持つ人が増えたら良いですね。

◎ 4月18日 兵庫県豊岡市 (女性)

モンゴルの生活が分かりやすく、とても楽しかったです。「スーホの白い馬」は小学生の時、教科書に出てきたので、十年以上たった今まで引き込まれました。また、来館したいです。

◎ 4月19日 匿名 (男性)

モンゴル以外の物が多く看板と異なる感じを受ける。説明が少ない。

◎ 4月28日 兵庫県西宮市 (女性)

モンゴルの衣服を着るのは楽しかったです。

◎ 4月29日 愛知県豊川市 (女性)

モンゴルの展示もよかったけど、但東の展示もよかったと思います。

◎ 5月1日 兵庫県西宮市 (女性)

モンゴル料理が食べたい。

◎ 5月2日 京都府亀岡市 (女性)

小学校2年生の時「スーホの白い馬」を学校で習って、馬頭琴の音色が聞きたくて大阪の民族博物館に行こうかと、さがしていた所、近くにあったのが嬉しかったです。まさか民族衣装を着てもいいと聞いた時には、うれしくて写真もとりました。今後、モンゴルのお料

理教室(親子でできるかんたんなもの)をしてもらえば、うれしいですし馬頭琴の演奏会をされるのであれば喜んで来たいと思います。

◎ 5月4日 兵庫県丹波市 (男性)

普段、目にすることのないモンゴルの文化・宗教生活を真近で見ることができ満足でした。

◎ 5月6日 兵庫県姫路市 (女性)

もう少し看板などを表示するとわかりやすいと思った。皿に出た人は目印を何か伝えてほしい。

◎ 5月23日 京都府京都市 (男性)

なかなか内容が濃く良いと思いました。もう少し宣伝して多くの人に知ってもらった方がいいと思います。そうでないと、これだけの内容なのに、もったいないです。

◎ 5月28日 兵庫県神戸市 (男性)

館内が整理整頓されていて見学しやすい状態でした。いつまでも、この状態を保って下さい。日々の努力がうかがえます。

◎ 6月7日 奈良県生駒郡 (男性)

宗教の絵が、かっこ良くてすばらしかった。

◎ 6月25日 兵庫県豊岡市 (男性)

モンゴルの写真で、ウランバートル以外の町の写真をあまり見たことがありません。今回ウルギー市街の上から撮った写真がありました。街並みの写真(集落)などを見たいと思います。

◎ 6月25日 大阪府大阪市 (男性)

モンゴルはおしゃれだなと思いました。日用品や服装飾品などの模様が、とてもよかったです。

◎ 6月25日 大阪府松原市 (男性)

とてもおもしろかったです。宗教画がとてもかっこよかったです。民芸品など、もっと売ってれば買いたかったです。いろいろ勉強になりました。友人にも勧めておきます。

◎ 6月30日 熊本県熊本市 (男性)

服を着るところが一番盛り上がった。

◎ 8月2日 兵庫県豊岡市 (男性)

装飾品のコーナーがとても良かった。サンゴの飾り等、興味深かった。試着のサービスもユニークで良かった。全体的に華やかな文化性が伝わってきた。

◎ 8月3日 京都府与謝野町 (女性)

以前に比べ、今回ははじめにビデオをみたので内容がわかり、場所、場所でゆっくりみられた。

◎ 8月13日 大阪府大阪市 (女性)

モンゴルの生活が、とてもよくわかりました。

◎ 8月13日 愛知県名古屋市 (男性)

チベット・モンゴル仏教に関して、くわしい資料がほしい。福岡であったチベット展のような展示もして

ほしい。

◎ 8月14日 兵庫県神戸市(女性)

案内していただき、モンゴルについてとても興味深く知ることができました。500円の価値は十分でした。

◎ 8月15日 大阪府大阪市(女性)

毎年、帰省するたびに来ています。ここに来ると落ちつきます。常設展示は同じなのに(スーホの白い馬)やはり見えています。でも少しずつ、かわっているのがわかります。

◎ 8月21日 兵庫県尼崎市(男性)

小学校国語2年生で習った「スーホの白い馬」にてくるモンゴルの様子がよく分かりとてもよかった。モンゴル料理のレシピなどが分かればもっといいなと思いました。

◎ 9月4日 兵庫県赤穂市(女性)

入場料以上に楽しめました。

◎ 9月4日 兵庫県加古郡(男性)

モンゴル料理を食べてみたい。

◎ 10月3日 京都府舞鶴市(女性)

モンゴルといえば「塩」岩塩の事くらいしか知りませんでした。こちらへきて「恐竜」の化石がよく発掘されるという事も知りました。

◎ 10月31日 京都府京田辺市(女性)

ずいぶん前(10年ぐらい前)モンゴルに行きました。モンゴルに知り合いがいますが、なかなか訪れることはできません。久しぶりにモンゴルに触れてモンゴルのよさを思い出す時間となりました。10年前と今ではモンゴルもずいぶんかわったとききますが……。

◎ 11月22日 京都府宇治市(男性・女性)

すばらしかった。はじめて見ました。

◎ 12月13日 京都府京丹後市(女性)

今日は姉と、前回は友達と、前々回は孫と、何回来ててもとてもいいです。友達と来た時はガイドさんがついて下さって友達から大変よろこんでいただきました。ガイドさんの名前、忘れましたが、やさしくてとてもいいので、ありがとうございます。

◎ 12月23日 兵庫県豊岡市(女性)

今回は(タコ)の案内をいただき孫と一緒に来ました。私にはなつかしいタコ、ハゴイタで昔に戻りました。今日はプレーリードックも見れるかなーと楽しみにしていましたが、寒かったのか駄目でした。孫は楽器がいつも気に入ってうるさく(?)あれこれ鳴らして楽しんでいます。

◎ 1月22日 奈良県生駒市(男性)

高校の時にならった時いらいで教科書で見たぐらいなので初めてモンゴル民族のようすがわかった。とても良かったです。

◎ 2月7日 兵庫県川西市(女性)

小学校で「スーホの白い馬」を今小2の娘が勉強中で、モンゴルのパオを見にきました。もう少しわかりやすい説明かボランティアガイドの方がいたら良いなあと思いました。

◎ 2月19日 鳥取県鳥取市(男性)

展示内容も大変豊富で楽しめました。県外にもモンゴル関係の博物館がありますが、それ程大きくない。館内に記念スタンプを設置してほしい。

◎ 2月20日 兵庫県豊岡市(女性)

モンゴルの人々の生活や文化、いろいろな事が良くわかりました。スーホの白い馬のお話は映像を見ながら聞く事が出来て、親子でじっくり聞き入っていました。

◎ 3月6日 京都府京丹後市(男性・女性)

とても、きれいな施設で見やすかったです。スーホの話・・・住居、食べ物、暮らしがよくわかる(子供にも)展示のしかたで、とても良かったです。

◎ 3月14日 兵庫県豊岡市(女性)

子どもが(小学3年生)国語の教科書で、スーホの白い馬を学んでいます。馬頭琴やゲル、民族衣装など、実際に見ることができて良かったです。子供も満足している様子でした。

◎ 3月20日 兵庫県加古川市(男性)

企画展「昭和の30年代の資母地区」なかなか味わいがあり、なつかしく感じました。常設展示も、いろいろ配慮がなされていて、鑑賞するたびに新しい発見があります。

◎ 3月21日 京都府舞鶴市(女性)

館全体が寒く展示物に集中できなかった。

◎ 3月22日 兵庫県加古川市(女性)

チンギス・ハーンの生涯の絵が良かった。

◎ 3月22日 兵庫県加古川市(男性)

モンゴルの生活の様子が詳細に描がかれていて、その場に居たような感じがして大変面白く感じました。雰囲気がよく感じられたのはゲルの中で空気が一瞬変わったような気がしました。

◎ 3月28日 京都府京丹後市(女性)

2年生の授業で、スーホの白い馬を習い春休み中に一度行こうと思ってきました。2年生の次男は、モンゴルの家や馬頭琴を見て考えこむようにしていました。「百聞は一見にしかず」心に残ったと思います。

◎ 3月29日 京都府京丹後市(女性)

ゲルの中が楽しかったです。また来たいと思います。

◎ 3月29日 京都府京丹後市(男性)(女性)

小学校の教科書にのっていたスーホのお話を聞いて来てみました。スタッフの方が、とても親切に対応してくださり、とてもうれしくおもいました。

10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

施行：平成 17 年 4 月 1 日
条例第 179 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等を行うとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につき 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者

は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等(以下「建物等」という。)を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不適當であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以

下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20名以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企 画 展 示 室	1,500円	2,000円	
体験交流室(1人につき)	100円	200円	200円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備 考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 2 電気窯の使用料は、1回当たり1,000円とする。		

11. 施設概要

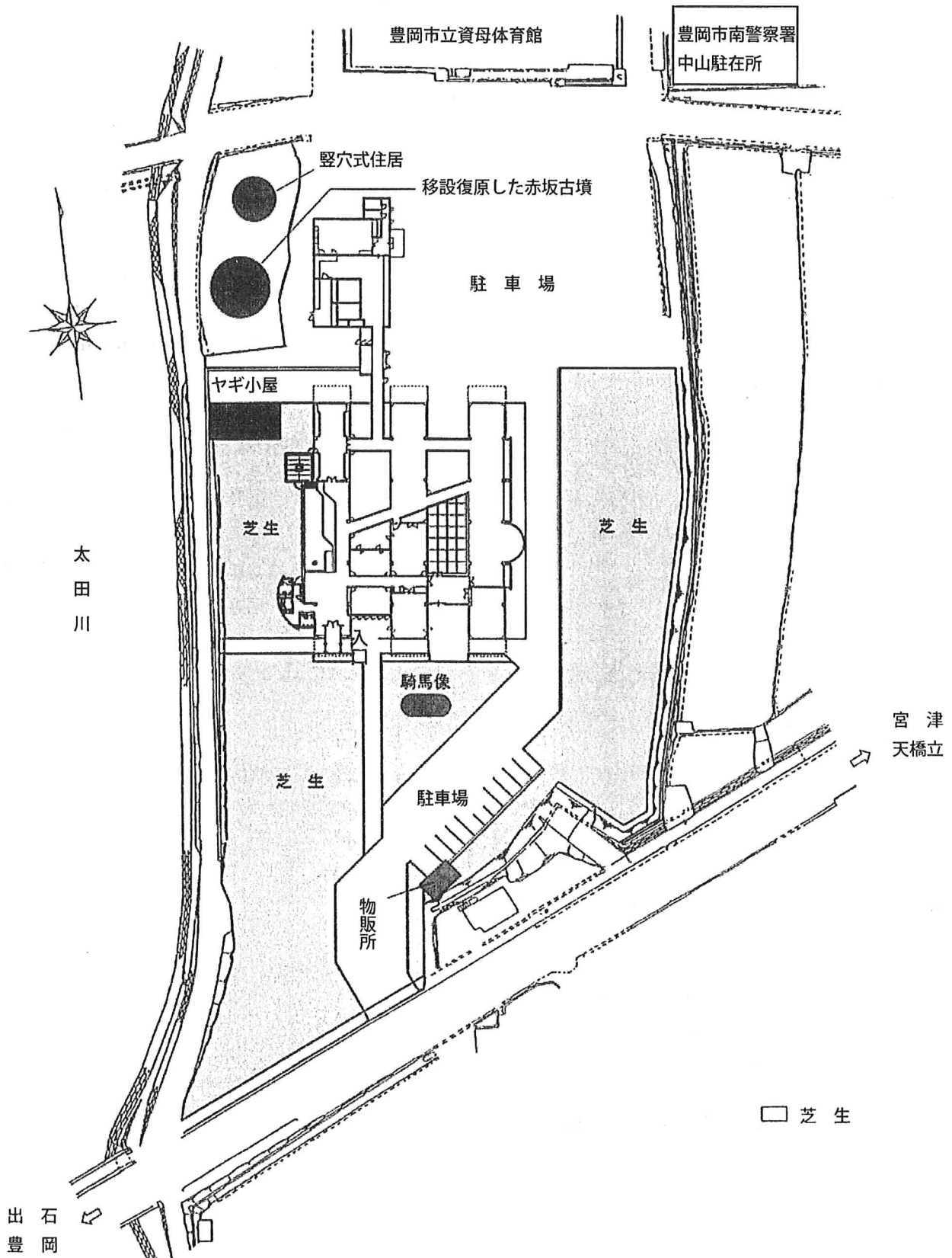
(1) 本館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84 m ²
建築面積	999.65 m ²
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6 m ² 、 収蔵庫1 54.6 m ² 、収蔵庫2 56.5 m ² 、 荷解室 33.3 m ² 、多用途室 28.0 m ² 、 事務室 33.3 m ² 、準備室 48.2 m ² 展示室「アジアの歴史」 75.7 m ² 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m ² 展示室「チベット仏教」 37.7 m ² 企画展示室 74.4 m ² シルクロード(回廊)1 13.3 m ² 、シル クロード(回廊)2 13.3 m ² 、シルクロ ード(回廊)3 12.6 m ² 、シルクロード(回 廊)4 12.6 m ²
建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m 地上高 9.0 m
仕 上 げ	〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

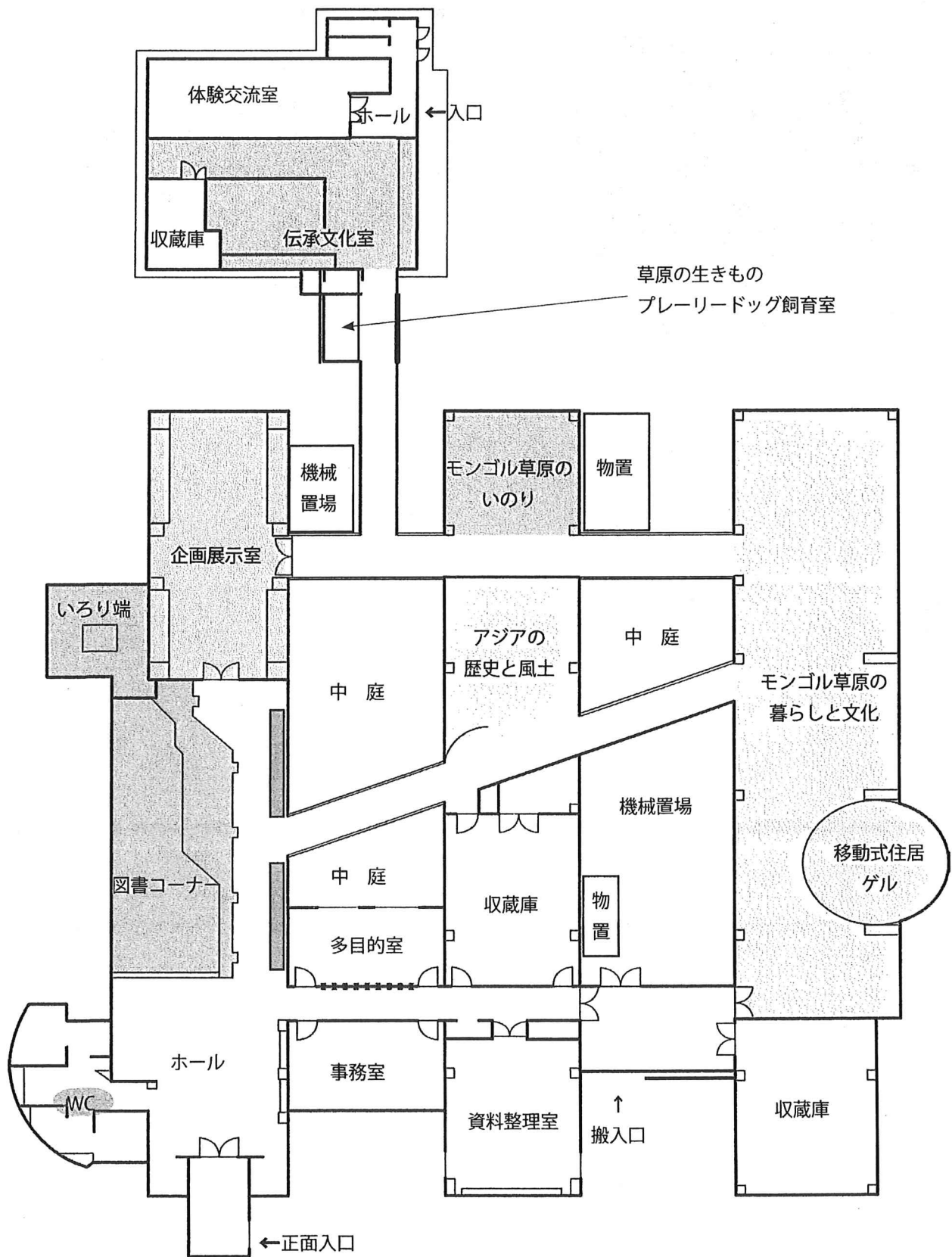
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57 m ²
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m ² 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m ² 、 シルクロード(回廊)5 36.4 m ² 、収蔵 庫 27.2 m ²
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井 : 化粧P B張 一部杉板張

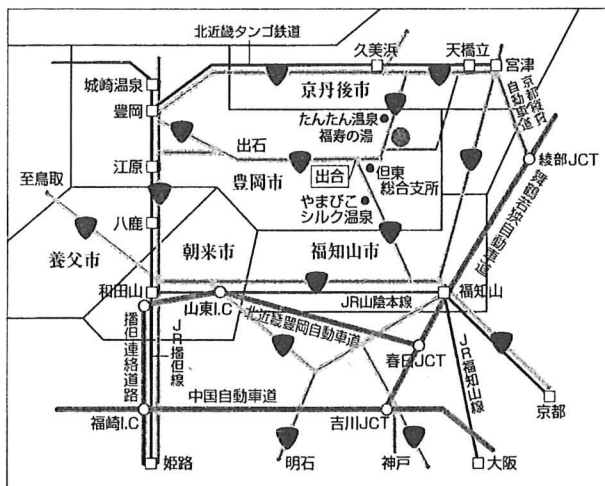
(3) 配置図



(4) 館内図



12. 交通案内



■ JRで（山陰線）

豊岡駅よりバスで約40分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車

■お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山IC下車後約50分

京都方面…京都縦貫道路 丹波IC下車後約90分

姫路方面…播但連絡有料道路 和田山IC下車後約50分

13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
展示替えによる臨時休館
- 入館料
 - 一 般 500円(450円)
 - 高校・大学生 300円(250円)
 - 小学・中学生 200円(150円)

※()内は20名以上の団体の場合
 ※身障者は各料金の半額
 ※65歳以上は半額
 ※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

◆前号まで掲載していましたが、「あとがき」は、今回から省略させていただきました

日本・モンゴル民族博物館年報第 11 号

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.11 (for the fiscal years of 2008-2009)**

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711
711Nakayama.Tanto-Town,Toyooka-city,Hyogo Pref. 668-0345 Japan
TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022
URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>
Email monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／日本・モンゴル民族博物館
平成 22 年 3 月 31 日発行